P-07B

取扱説明書　’10.9

docomo STYLE series

ドコモ W-CDMA方式

このたびは、「docomo STYLE series P-07B」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

P-07Bをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

P-07Bの操作説明について

P-07Bの操作は、本書のほかに、「使いかたナビ」（本FOMA端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）で説明しています。

◆「取扱説明書」（本書）◆

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

◆「使いかたナビ」（本FOMA端末に搭載）◆

よく使われる機能の概要や操作について説明

P-07Bから　メニュー▶LifeKit▶使いかたナビ

◆「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）◆

すべての機能の詳しい案内や操作について説明

パソコンから　ドコモのホームページでダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ 本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

- P-07B本体（リアカバー P45、保証書含む）
- 電池パック P20

- 取扱説明書（本書）

- P-07B用CD-ROM

- 本FOMA端末に対応したオプション品についてはP.82参照

本書のご使用にあたって

- 本書では「P-07B」を「FOMA端末」と表記させていただいております。
- 本書の手順や画面は、主に本体色「ブラック」のお買い上げ時の設定で記載しています。また、本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

目次

　※本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

FOMA端末について

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。
  しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSL/TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL/TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO' s roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

P-07Bでできること

使いかたナビ

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。
手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。

▶LifeKit▶使いかたナビ

国際ローミング ▶P.45

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3Gエリアのみ対応）。

ecoモード ▶P.33

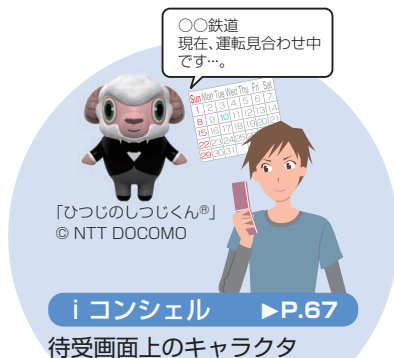
簡単なボタン操作で、電池の消費を抑えるecoモードに切り替えることができます。

ワンセグ ▶P.60

モバイル向け地上デジタル放送の「ワンセグ」を視聴できます。

ボタンレイアウト

人間工学に基づいた、押しやすい独立ボタンレイアウトと数字や文字を大きく表示したボタンで文字入力に便利です。

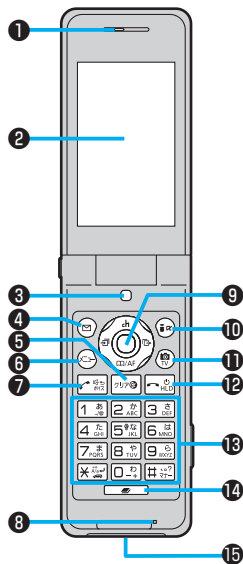
○○鉄道
現在、運転見合わせ中です…。

「ひつじのしつじくん®」
© NTT DOCOMO

ｉコンシェル ▶P.67

待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれたり、サイトからスケジュール（ｉスケジュール）をダウンロードすることにより便利にご利用いただけるサービスです。

プライベートウィンドウ ▶P.21

FOMA端末を閉じたまま、さまざまな情報を確認できます。

各部の名称と機能

❶受話口
相手の声をここから聞きます。

❷ディスプレイ

❸光センサー
明るさを感知します。(手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。)

❹メールボタン
メールメニューを表示します。

❺クリアボタン

❻メニューボタン
メインメニューを表示します。

❼開始ボタン／ハンズフリー切替ボタン

❽送話口
自分の声をここから相手に送ります。

❾コマンドナビゲーションボタン
機能操作やメニュー操作を行います。

❿ｉモードボタン／ｉアプリボタン

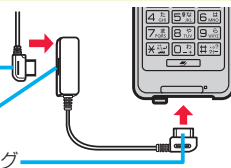
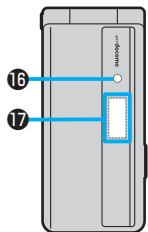
⓫カメラボタン／ワンセグボタン

⓬電源／終了ボタン
電源の入／切や通話を終了します。

⓭ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力します。

⓮マルチボタン
タスクメニューを表示します。

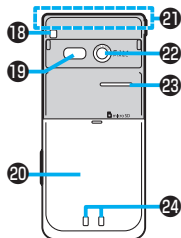
⓯外部接続端子
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。

イヤホンのご利用について
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続例

❻着信／充電ランプ
着信時や通話中、メール受信時、充電中などに光ります。

❼プライベートウィンドウ

❽ストラップ取り付け穴

❾赤外線ポート
赤外線通信や赤外線リモコンに使用します。

⓴リアカバー
電池パック、FOMAカード、microSDカードの付け外しをするときに取り外します。

㉑FOMAアンテナ／ワンセグアンテナ
アンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で通話／受信をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

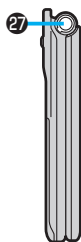
㉒カメラ
人や風景を撮影します。

㉓スピーカー

㉔充電端子

㉕▲サイド▲ボタン
通話中に受話音量を上げます。

㉖▼サイド▼ボタン
通話中に受話音量を下げます。

㉗ワンプッシュオープンボタン
FOMA端末が開きます。（開いた反動でFOMA端末を落とさないようにご注意ください。）

安全上のご注意 必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	説明
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	説明
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて〈共通〉

危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック･アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
　補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
　植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

人の近くや顔を近づけて、ワンプッシュオープンでFOMA端末を開かないでください。

本人や他の人に当たり、けがの原因となります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

P.12「材質一覧」参照。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■**電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
AC100V ～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

注意

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ面、ヒンジ部の突起部分	ポリカーボネート＋ガラス繊維／UV塗装
	プライベートウィンドウ面、操作ボタン面、電池面、リアカバー	ABS樹脂／ UV塗装
外部接続端子		ステンレス鋼／ニッケルメッキ＋スズメッキ
外部接続端子カバー		エラストマー樹脂
カメラパネル		アクリル樹脂／表面ハードコート
カメラパネル両横の突起		ABS樹脂
サイド▲ボタン、サイド▼ボタン		ABS樹脂／ UV塗装
充電端子		りん青銅／ニッケルメッキ＋金メッキ
操作ボタン面	コマンドナビゲーションボタンの中央ボタン	アクリルウレタン
	ボタン部	ポリカーボネート／ UV塗装
	シート部	PET樹脂
	開閉ストッパー	アクリルウレタン
	光センサー部	アクリル樹脂
ディスプレイパネル		アクリル樹脂／表面ハードコート
電池収納面		ポリカーボネート
電池端子	樹脂部分	PPS樹脂
	端子部	ベリリウム銅／ニッケルメッキ＋金メッキ
電池パック	樹脂部分	ポリカーボネート
	ラベル	PET樹脂
	端子部	ガラスエポキシ基板／ニッケルメッキ＋金メッキ
ネジ（電池収納部）		鉄／ニッケルメッキ
プライベートウィンドウパネル		アクリル樹脂／表面ハードコート
プライベートウィンドウ面の飾り部分		ポリカーボネート／スズ蒸着＋UV塗装
ワンプッシュオープンボタン		ポリカーボネート
ワンプッシュオープンボタンの金属部分		アルミニウム／アルマイト処理
microSDカード挿入口（電池収納部）	樹脂部分	LCP樹脂
	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■水をかけないでください。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

・乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
・ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものがつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子(イヤホンマイク端子)に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■FOMA端末、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃〜35℃、湿度は45%〜85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■外部接続端子(イヤホンマイク端子)に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。

故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常は外部接続端子カバーをはめた状態でご使用ください。

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。

電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。

故障、破損、誤動作の原因となります。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
- 満充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
- 電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程消費している状態)での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ･ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

■卓上ホルダのスタンドを収める場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

注意

■**改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

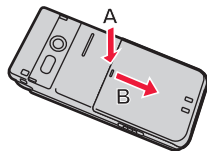
■**自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

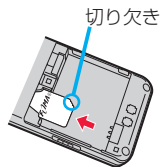
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

事前の準備

FOMAカード・電池パックの取り付けかた

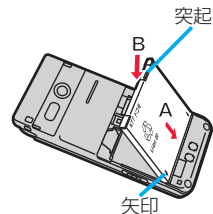
1 リアカバーの取り外し

リアカバーの「 ⊂⊃ 」部分をAの方向に押しながら、ロックが外れるまで(2mm以上)Bの方向にスライドさせて取り外す

2 FOMAカードの取り付け

FOMAカードの金色のIC面を下にして、カードの表面を押しながら、ゆっくりと奥まで差し込む

取り外すときは

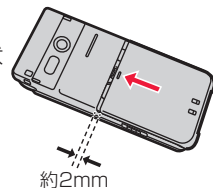
FOMAカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜きます。

3 電池パックの取り付け

矢印面を上にして、FOMA端末と電池パックのツメ側を確実に合わせ、Aの方向に押し付けながら、Bの方向に押し込む

取り外すときは

電池パックの突起を利用して、上方向に持ち上げます。

4 リアカバーの取り付け

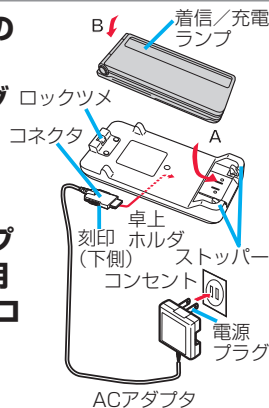
リアカバーを約2mm開けた状態でFOMA端末の溝に合わせて、リアカバー全体を下方向に押さえながら矢印方向にスライドさせて取り付ける

- リアカバーとFOMA端末に隙間がないことを確認してください。

- FOMAカードや電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- 本FOMA端末では、FOMAカード(青色)はご使用できません。FOMAカード(青色)をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。

FOMAカードとは
お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードを取り付けないと、音声/テレビ電話、iモード、メールの送受信などの通信をご利用できません。

充電のしかた

卓上ホルダを使って充電する

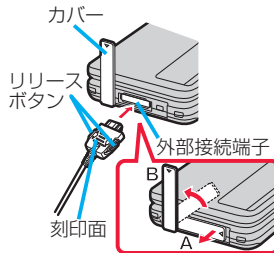
1 ACアダプタ(別売)のコネクタの刻印面を下にして、卓上ホルダ(別売)のコネクタ端子へ水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む

3 卓上ホルダのストッパーにFOMA端末の底部を押し込み(A)、そのままFOMA端末の頭部をロックツメに合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む(B)

- 市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。

4 充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す

■ACアダプタのみで充電する

1 外部接続端子のカバーを、Aの方向に引っ張り出したあと、Bの方向に回転させる

2 刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで外部接続端子に差し込む

- コネクタを抜くときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。
- 充電を開始するとFOMA端末の着信／充電ランプが赤色点灯し、充電が完了すると消灯します。

電源を入れる

1 [終話]を1秒以上押す

ウェイクアップ画面が表示されたあと、待受画面が表示されます。

電源を切るには

[終話]を2秒以上押します。

初期値設定に未設定の機能があると、初期値設定の画面が表示されます。
画面の表示に従って設定してください。

初期値設定を行う

初めて電源を入れると初期値設定の画面が表示されます。

1 日付時刻を設定する

日付時刻を設定します。自動で日付時刻を補正することもできます。

2 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。

- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

3 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。

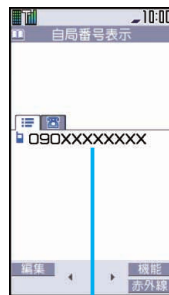
4 文字サイズを設定する

画面に表示される文字の大きさを一括で設定します。

自分の電話番号を確認する

1 待受画面で(メニュー)▶電話帳▶自局番号表示

(O)を押してタブを切り替えることができます。

- 右の画面で(✉)(編集)を押すと、自分の名前やメールアドレスなどを登録できます。
- メールアドレスの確認／変更方法については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

自局番号

待受画面で(メニュー)(O)と押しても自分の電話番号を確認できます。

画面の説明

ディスプレイ・アイコンの見かた

電池残量(目安)

多い　少ない

- の状態になったときは充電してください。
- 使用状況によっては電池残量の表示が大きく変動することがあります。

電波の受信レベル(目安)

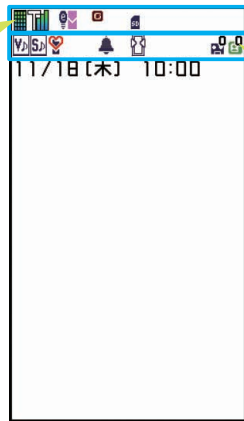
強い　弱い

圏外……FOMAサービスエリア外または電波の届かないところ

……ecoモード中

……未読iモードメール・SMSあり

……iコンシェルの新着インフォメーションあり

……microSDカード装着中

状態表示アイコン

……バイブレータ設定中

……着信音量を消去に設定中

……マナーモード中

……アラーム設定中

……ビューブラインド設定中

……伝言メモの録音件数

……テレビ電話伝言メモの録画件数

ここでは主なアイコンを説明しています。ディスプレイに表示されるその他のアイコンの説明を以下の操作で確認できます。
待受画面で(メニュー)▶LifeKit▶使いかたナビ▶表示アイコン説明

お知らせアイコン

メール1 ……… 新着ｉモードメール・SMSあり

不在1 ……… 不在着信あり

伝言 ……… 伝言メモあり

伝言 ……… テレビ電話伝言メモあり

貼り付けアイコン

……… 使いかたナビ

……… ｉコンシェル

……… 電池／ecoモード設定

……… サイトを表示

……… P-SQUARE（メーカーサイト）

アイコンからそれぞれの機能に進むには

「状態表示アイコン」「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」を利用して、それぞれの機能へ進むことができます。

1. 待受画面で◉▶◎でアイコンを選ぶ▶◉（選択）

プライベートウィンドウ

プライベートウィンドウには、さまざまな情報が以下の例のように表示されます。

FOMA端末を閉じた状態で▲▼を押したときなどに情報が約15秒間表示されます。

時計

着信中

不在着信や新着メールなどがあったときは

状態	表示	▲を押す
不在着信	着信あり	不在着信履歴表示
新着メール・新着メッセージR/F	メールあり	Feel＊Mail再生※

※メッセージR/FではFeel＊Mail画像は再生されません。

■時計の表示を変更する

時計を表示しているときに▲を押すと、表示内容を変更できます。

10:00

時刻のみ

アイコンと日付／時刻

プライベートウィンドウにアニメーションを再生する

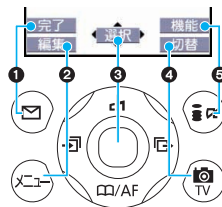
「クローズイルミネーション」を「ON」に設定し、項目を選択すると、FOMA端末を閉じたときにアニメーションを再生します。

1. 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶イルミネーション▶クローズイルミネーション▶ON
2. 項目を選択

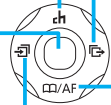
お買い上げ時の状態では、5回に1度特別なアニメーションをランダムで再生するハッピーイルミネーションが選択されています。

ナビゲーション表示とボタン操作

各機能を操作中に利用できる操作を画面下部に案内表示します。(ナビゲーション表示)

■ボタン割り当てと主なナビゲーション表示

❶	(✉)ボタンで行う操作	完了　✉
❷	(メニュー)ボタンで行う操作	編集　登録
❸	(●)ボタンで行う操作	選択　確定
	(○)ボタンで行うスクロールや項目の選択が可能な方向	◀ ▲ ▼ ▶
❹	(📷TV)ボタンで行う操作	切替　詳細
❺	(iα)ボタンで行う操作	機能　設定

ダイヤル入力中のナビゲーション表示

待受画面で数列を入力すると、桁数に応じて使用できる機能のボタン操作が画面に表示され、ワンタッチで起動できます。
電卓、スケジュール、アラームなどの機能が起動できます。

<例>「1118」を入力して11月18日のスケジュールを表示する

1. 待受画面で 1 1 1 8 を入力
2. を押す

ナビゲーション表示

■コマンドナビゲーションボタン

- カーソルまたは反転表示を上方向へ移動します。（押し続けると連続スクロールになります）
- 表示内容を上方向へスクロールします。

- 操作を決定します。

- カーソルを左方向へ移動します。
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールします。（押し続けると連続スクロールになります）

- カーソルを右方向へ移動します。
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールします。（押し続けると連続スクロールになります）

- カーソルまたは反転表示を下方向へ移動します。（押し続けると連続スクロールになります）
- 表示内容を下方向へスクロールします。

メニュー操作

メインメニュー

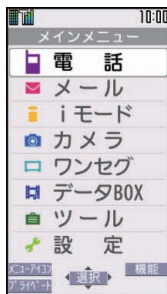
待受画面で(メニュー)を押すと、メインメニューを表示できます。

待受画面　メインメニュー

(方向キー)でメニューアイコンを選んで(決定)(選択)を押します。メニュー項目ごとに分類された機能が表示されます。繰り返し項目を選択して、目的の機能を呼び出します。

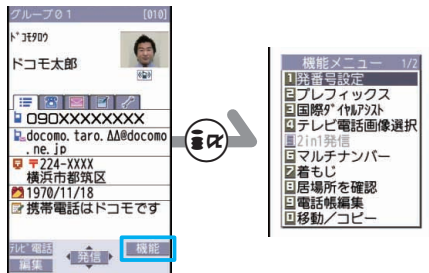
- 一つ前の画面に戻るには(クリア)を押します。また、どの画面からでも(終話)を押すと待受画面に戻ります。
- 機能によっては、待受画面で(メニュー)＋メニュー番号を押すと表示されます。
- 各機能のメニュー項目、メニュー番号については、「機能一覧表」をご覧ください。(P.83参照)
- 本書では、主に待受画面を起点に操作手順を説明しています。

シンプルメニュー

シンプルメニューとは、基本機能に絞って使いやすくしたメニューです。「メニューアイコン設定」を「シンプルメニュー」に設定し、待受画面で(メニュー)を押すと、シンプルメニューが表示されます。

- シンプルメニューでの操作手順や画面に表示される項目は、本書に記載しているものとは一部異なります。

機能メニューについて

画面の右下に「 機能 」が表示されているときは、(iα)を押すと登録や編集、削除などの機能を利用できます。

<例> 電話帳の機能メニューを表示する

• ボタンでも操作できる機能の場合は、機能名の右にダイヤルボタンの番号などが表示されることがあります。

簡単な操作で機能を起動する

機能によっては、メニューから選択して起動する方法だけでなく、待受画面からのボタン操作で起動できるものもあります。
ボタンを1秒以上押して起動できる機能には、以下のようなものがあります。

ボタン	動作
●	ボタンロックのON ／ OFF
(電話帳)	電話帳の登録画面を表示
(メール)	ｉモード問い合わせを実行
(iα)	ソフト一覧画面を表示
(TV)	ワンセグを起動
5	ecoモードの設定／解除
6	パーソナルデータロックの設定／解除
8	ビューブラインドのON ／ OFF
*	公共モード（ドライブモード）の設定／解除
#	マナーモードの設定／解除

■FOMA端末を閉じた状態での操作

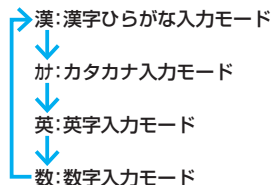
ボタン	動作
▼	マナーモードの設定／解除

文字入力

電話帳の登録画面やメールの作成画面などで文字を入力します。

1 入力モードを切り替えます

✉（文字）を押すごとに入力モードが切り替わります。

- 漢：漢字ひらがな入力モード
- ↓
- ｶﾅ：カタカナ入力モード
- ↓
- 英：英字入力モード
- ↓
- 数：数字入力モード

2 文字を入力します

各ダイヤルボタンを繰り返し押すと、そのボタンに割り当てられている他の文字を入力できます。

＜例＞2を押す場合

漢字ひらがな入力モード

「か→き→く→け→こ」

カタカナ入力モード

「カ→キ→ク→ケ→コ→2」

英字入力モード

「a→b→c→A→B→C→2」

数字入力モード

「2」

3 文字を変換・確定します

1. ◎を押して変換する範囲を指定
2. ◎を押して候補リストにカーソルを移動
3. ◎を押して変換候補を選択
4. ◎を押して文字を確定

その他のボタン操作について

メニュー（絵文字）：絵文字を入力

📷TV（顔文字）：顔文字を入力

#（1秒以上）：記号を入力

*：改行を入力
（文字を入力したあとに押すと、大文字／小文字の切り替えや濁点・半濁点の入力が可能）

（1秒以上）：確定・削除などをした文字を元に戻す

クリア：文字を削除

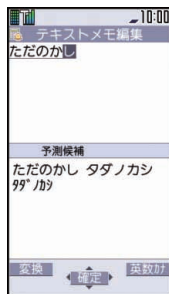
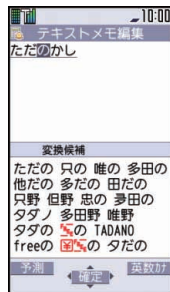
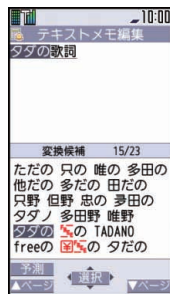
<文字の入力例>テキストメモに「タダの菓子」と入力する場合

1 待受画面で(メニュー)

▶ステーショナリー
▶テキストメモ
▶<未登録>を選択

2 ひらがなを入力

た→4を1回、(→)を1回
だ→4を1回、*を1回
の→5を5回
か→2を1回
し→3を2回

- 「あ」「い」のように同じボタンで文字を続けて入力する場合は、(→)でカーソルを進めてから次の文字を入力します。

3 (←→)で「の」までカーソルを移動

4 (↑↓)で候補リストにカーソルを移動▶(↑↓←→)で「タダの」を選んで(●)(選択)

5 (↑↓)で候補リストにカーソルを移動

▶(↑↓←→)で「菓子」を選んで(●)(選択)

音／画面設定

着信音を変える

＜例＞音声電話の着信音を変更する

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶サウンド▶着信音選択

2 「電話」を選択

- (✉)(デモ)を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。
- メールやテレビ電話などの着信音を設定する場合は、対応する項目を選択します。

3 「着信音」を選択

4 着信音の種類を選択

5 フォルダを選択▶着信音を選択

着信音の音量を調節する

＜例＞音声電話の着信音量を調節する

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶サウンド▶着信音量

2 「電話」を選択

- メールやテレビ電話などの着信音量を調節する場合は、対応する項目を選択します。

3 (◎)で音量を調節

バイブレータを設定する

着信を振動でお知らせします。

＜例＞音声電話の着信時のバイブレータを設定する

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶着信▶バイブレータ

2 「電話」を選択

- メールやテレビ電話などの着信時のバイブレータを設定する場合は、対応する項目を選択します。

3 パターンを選択

マナーモードを利用する

着信音やボタン確認音、アラーム音などの音がFOMA端末から鳴らないようにボタン1つで設定できます。マナーモードに設定すると、音の代わりに振動(バイブレータ)でお知らせします。

1

待受画面で(#)を1秒以上押す

待受画面に「♥」が表示されます。

解除するには

同様の操作を行います。

オリジナルマナーを利用する

「オリジナルマナー」を利用して、マナーモード中の動作をお好みに合わせて設定できます。

1. 待受画面で(メニュー)▶設定/サービス▶着信▶マナーモード選択▶オリジナルマナー
2. 各項目を設定
3. (✉)(完了)を押す

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音・フォーカスロック音や、ボイスレコーダーの録音開始音・終了音は鳴ります。

ボタンを押したときの音を消す

ボタンを押したときに鳴る「ピッ」という確認音を鳴らさないようにします。

1 待受画面で(メニュー)▶設定/サービス▶サウンド▶ボタン確認音

2 「OFF」を選択

画面の設定を変える

■待受画面を設定する

1 待受画面で(メニュー)▶設定/サービス▶ディスプレイ▶画面表示設定

2 「待受画面」を選択

- 発着信時の画面や電池アイコンなどを設定する場合は、対応する項目を選択します。

3 画像の種類を選択

4 フォルダを選択▶画像を選択

■ディスプレイの明るさを変える

照明設定をOFFに設定します。OFFにすると、ディスプレイは微灯で点灯しボタンは消灯します。また、省電力モードに切り替わるまでの時間も設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶ディスプレイ▶照明設定

2 「通常時」を選択▶「OFF」を選択

• 「OFF」に設定すると、「 」が表示されます。

3 省電力移行時間(秒)を入力

省電力モード

FOMA端末を何も操作しないで省電力移行時間で設定した時間が経過すると、省電力モードに切り替わります。ディスプレイの表示が消え、電池の消費を抑えることができます。

■周りの人からディスプレイを見えにくくする

斜めの角度からディスプレイを見えにくくする「ビューブラインド」を設定します。

1 待受画面で(8)を1秒以上押す

待受画面に「 」が表示されます。

解除するには

同様の操作を行います。

■メインメニューの表示を設定する

1 待受画面で(メニュー)▶(✉)(メニューアイコン)

2 パターンを選択

■文字のサイズを変える

文字のサイズを一括で変更します。

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス ▶ディスプレイ▶文字サイズ設定

2 「一括設定」を選択

- 「メール」「電話帳」など機能ごとに設定することもできます。

3 文字サイズを選択

■マチキャラの設定を変える

不在着信や新着メール、i コンシェルの新着インフォメーションなどをお知らせするマチキャラを変更できます。

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス ▶ディスプレイ▶マチキャラ ▶マチキャラ設定

2 マチキャラを選んで(✉)(設定)を押す

きせかえツールを利用する

着信音や待受画面、メニューアイコンなどをまとめて設定できます。

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス ▶きせかえ

2 きせかえツールを選んで(✉)(一括設定)を押す

3 「YES」を選択

- メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。

メニューアイコンをお買い上げ時の設定に戻すには

1. 待受画面で(メニュー)▶(iαppli)(機能)▶リセット機能
2. 端末暗証番号を入力
   ▶「メニュー画面リセット」を選択▶「YES」を選択

イルミネーションを変える

着信中や通話中などのイルミネーションを一括で設定します。

1 待受画面でメニュー▶設定／サービス▶イルミネーション

2 「イルミネーション一括設定」を選択

- 個別に設定する場合は、イルミネーションの種類を選択します。

3 パターンを選択

メールを受信したときなどに、設定したパターンで光ります。

不在着信や新着メールを音と着信／充電ランプで確認する

FOMA端末を閉じたまま、不在着信・新着メールなどがあるかないかを確認できます。

1 FOMA端末を閉じた状態で▼を押す

電子音と着信／充電ランプでお知らせします。

「ピピ、ピピ」：
不在着信・新着メールがあります。
「ピピピ」：
不在着信・新着メールはありません。

■音の設定を変える

「ボイス」に設定すると、不在着信や新着メールを音声でお知らせします。

1 待受画面でメニュー▶設定／サービス▶着信▶確認機能設定

2 「ボイス」を選択

ecoモードに切り替える

電池の消費を抑えるecoモードにボタン1つで設定できます。

1 待受画面で⑤を1秒以上押す

待受画面に「」が表示されます。

解除するには

同様の操作を行います。

ecoモード設定

ecoモードに切り替えたときに電池の消費を抑える項目を設定します。

1. 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶その他▶電池／ecoモード設定▶ecoモード設定
2. 設定したい項目にチェック
3. (✉)(完了)を押す

ロック／セキュリティ

各種暗証番号について

■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とFOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■端末暗証番号

お買い上げ時は「0000」

データ全削除や設定変更時に使用する4～8桁の番号です。端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◎(確定)を押します。

変更するには

1. 待受画面でメニュー▶設定／サービス
 ▶ロック／セキュリティ▶端末暗証番号変更

■ネットワーク暗証番号

ご契約時に任意の番号を設定

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。

変更するには

ｉモードから、「ｉMenu」→「お客様サポート」
→「各種設定(確認・変更・利用)」
→「ネットワーク暗証番号変更」で変更できます。

■ｉモードパスワード

ご契約時は「0000」

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行うときに必要な4桁の番号です。

変更するには

ｉモードから、「ｉMenu」→「お客様サポート」
→「各種設定(確認・変更・利用)」
→「ｉモードパスワード変更」で変更できます。

■PIN1コード・PIN2コード

ご契約時は「0000」

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号です。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときに入力する4～8桁の番号です。
PIN1コード／PIN2コード入力の画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、◎(確定)を押します。

- 3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。

変更するには

1. 待受画面でメニュー▶設定／サービス
 ▶ロック／セキュリティ▶FOMAカード(UIM)設定
2. 端末暗証番号を入力▶「PIN1コード変更」または「PIN2コード変更」を選択

- PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

■PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。
なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

■PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたとき、PIN1コードを入力しないと使用できないようにします。

1 待受画面でメニュー▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶FOMAカード(UIM)設定

2 端末暗証番号を入力▶「PIN1コード入力設定」を選択

3 「ON」を選択▶PIN1コードを入力

解除するには

「OFF」を選択します。

各種ロック機能

FOMA端末には、他人の不正使用を防いだり、個人情報を守ったりするためのさまざまなロック機能が搭載されています。

オールロック	FOMA端末を他の人が使用できないようにします。 電話の応答、電源のON／OFF以外の操作ができなくなります。 1. 待受画面でメニュー▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶オールロック▶端末暗証番号を入力 • 解除するには待受画面で端末暗証番号を入力します。

おまかせロック	FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データにロックをかけることができます。 • おまかせロックの詳細については「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。 **■おまかせロックの設定／解除** **0120-524-360　受付時間 24時間（年中無休）** ※一部のIP電話からは接続できない場合があります。 • パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。
パーソナルデータロック	電話帳やスケジュールなど、個人情報を利用する機能を使用できないようにします。 1.待受画面で6を1秒以上押す • 解除するには同様の操作を行い、端末暗証番号を入力します。
ボタンロック	以外のボタンが効かなくなります。 1.待受画面でを1秒以上押す • 解除するには同様の操作を行います。 • ボタンロック中でも、着信中はを押して応答できます。

電話の着信制限をする

■発信者番号のわからない電話を受けない

発信者番号非通知理由によって電話を受ける(許可)か受けない(拒否)かを設定できます。発信者番号非通知理由には「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」の3つがあります。

1 待受画面でメニュー▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶非通知着信設定

2 端末暗証番号を入力▶発信者番号非通知理由を選択

3 「許可」または「拒否」を選択

• 「許可」を選択した場合は、非通知着信時の着信音を設定できます。

■電話帳未登録の相手からの電話を受けない

1 待受画面でメニュー▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶登録外着信拒否

2 端末暗証番号を入力▶「許可」または「拒否」を選択

お買い上げ時の状態に戻す

■各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の　　　の項目をお買い上げ時の設定に戻します。(P.83参照)

- 　　　の項目には、お買い上げ時の設定や状態に戻らない機能を含んでいる場合があります。

1 待受画面でメニュー▶設定／サービス▶その他▶設定リセット

2 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

■登録データを一括して削除する

登録データを一括して削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 待受画面でメニュー▶設定／サービス▶その他▶端末初期化

2 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

3 「YES」を選択

遠隔操作でデータを初期化する

本機能の利用契約(ビジネスmoperaあんしんマネージャー)をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ(本体／microSDカード／FOMAカード内のメモリ)を初期化することができます。

■お問い合わせ先

ドコモの法人向けサイト

docomo Business Online

パソコンから　http://www.docomo.biz/

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

■遠隔初期化が起動すると

操作ができなくなる旨の画面が表示され、初期化が開始されます。

・遠隔初期化が起動すると、音声電話の着信に対する応答・応答保留を除いてすべてのボタン操作がロックされ、各機能を使用することができなくなります。初期化が開始されると、すべての機能を使用することができなくなります。

・着信中、通話中に遠隔初期化が起動した場合、開始と終了を除いてすべてのボタン操作がロックされます。初期化が開始されると、自動で着信や通話を終了します。

- パソコンとFOMA端末を接続しているときはmicroSDカードを初期化できない場合があります。

基本の操作

電話

電話／テレビ電話をかける

■電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で市外局番から電話番号を入力

2 [発信]を押して電話をかける

- テレビ電話をかける場合は、[発信]の代わりに[TV]（テレビ電話）を押します。

3 [終話]を押して通話を終了

- 本FOMA端末は内側にカメラを搭載しておりませんので、相手に送る画像はキャラ電、静止画または外側のカメラで撮影中の映像となります。

通話中に[決定]（保留）を押すと通話を保留できます。
[決定]（通話）を押すと保留を解除できます。

■電話帳から電話をかける

<例>電話帳に登録している名前で検索する

1 待受画面で[下]を押す

2 「名前検索」を選択

名前を先頭の文字から入力して検索します。
一度検索したあとは、検索方法の選択画面は表示されません。[クリア]を押すと表示できます。

- 「電話番号検索」「アドレス検索」など、他の検索方法も利用できます。

3 名前の一部を入力▶[上下]

- 何も入力せずに[上下]を押すと、すべての電話帳が表示されます。

4 電話帳を選択

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は[上下左右]を押して目的の電話番号を選択します。

5 [発信]を押して電話をかける

- テレビ電話をかける場合は、[発信]の代わりに[メール]（テレビ電話）を押します。

リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

1 待受画面で◯(リダイヤル)または◯(着信履歴)を押す

2 履歴を選択

3 ◯を押して電話をかける

- テレビ電話をかける場合は、◯の代わりに◯(テレビ電話)を押します。

相手に自分の電話番号を通知する

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶NWサービス▶発信者番号通知

2 「発信者番号通知設定」を選択

3 「通知する」を選択

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。

国際電話をかける

日本から国際電話をかけるときはWORLD CALLを利用します。

- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

1 待受画面で◯(1秒以上)▶国／地域番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 ◯を押す

- ◯(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

3 「発信」を選択

- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、着信／充電ランプが光ります。

2 [通話キー]を押して電話を受ける

テレビ電話がかかってきた場合

同様の操作で受けられます。
相手には代替画像が送信されます。

3 [終話キー]を押して通話を終了

相手の声の大きさを変える

1 通話中に[▲]または[▼]を押す

2 [▲][▼]を押して音量を調節

電話に出られないときは

■伝言メモを設定する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに相手の用件を録音･録画できます。

- 電話がかかってくると、呼出時間が経過後、応答メッセージが再生されます。その後、相手の用件が録音･録画されます。

1 待受画面で[メニュー]▶LifeKit ▶伝言メモ／音声メモ▶伝言メモ設定

2 「ON」を選択

3 応答メッセージを選択 ▶呼出時間（秒）を入力

伝言メモが録音･録画されると、待受画面に「[伝言]」や「[伝言]」のお知らせアイコンが表示されます。
アイコンを選択すると伝言メモを再生できます。

つながる

■公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モード（ドライブモード）を設定すると、運転中もしくは通話を控える必要のある場所にいて電話に出られない旨のガイダンスが相手に流れ、通話が終了します。

待受画面で＊を1秒以上押す

待受画面に「🚗」が表示されます。

解除するには

同様の操作を行います。

公共モード（ドライブモード）中に着信があると、着信音は鳴らず、着信履歴に記憶されます。また、アラーム設定時刻になってもアラーム音は鳴りません。

■公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが相手に流れ、通話が終了します。

待受画面で＊２５２５１を入力

📞を押す

解除するには

1. 待受画面で＊２５２５０を入力
2. 📞を押す

各種ネットワークサービスを利用する

■利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料
キャッチホン	要	有料
転送でんわサービス	要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	要	有料

サービス名称	お申し込み	月額使用料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	要	有料
2in1	要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
OFFICEED	要	有料
メロディコール	要	有料

- 「OFFICEED」は申し込みが必要な有料サービスです。
  ご不明な点はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご覧ください。
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

つながる

■留守番電話サービスを利用する

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶NWサービス▶留守番電話

サービスを開始するには

1.「留守番サービス開始」を選択▶「YES」を選択
- 続けて呼出時間も設定できます。

メッセージを再生するには

1.「留守番メッセージ再生」を選択
▶「再生(音声電話)」または「再生(テレビ電話)」を選択▶「YES」を選択
2. 音声ガイダンスに従って操作
- 音声電話またはテレビ電話のどちらかだけが録音されている場合は、音声電話／テレビ電話を選択する画面は表示されません。

■キャッチホンを利用する

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶NWサービス▶キャッチホン

サービスを開始するには

1.「キャッチホンサービス開始」を選択
▶「YES」を選択

通話中にかかってきた電話に出るには

(通話キー)を押します。(通話キー)を押すたびに通話する相手が切り替わります。

■転送でんわサービスを利用する

1 待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶NWサービス▶転送でんわ

サービスを開始するには

1.「転送サービス開始」を選択▶「開始」を選択
▶「YES」を選択
- 転送先や呼出時間も設定できます。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス(有料:案内料+通話料) ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177

利用できるサービス	電話番号
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171
コレクトコール(有料:案内料+通話料)	(局番なし)106

- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話/携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源が入っていないときなどでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

海外で利用する

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。音声電話、SMS、iモードメールは設定の変更なくご利用になれます。

- 対応エリアについて
  本FOMA端末は3Gネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - ・データBOXの「マイドキュメント」にプリインストールされている「海外ご利用ガイド」
  - ・「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」
  - ・ドコモの「国際サービスホームページ」
- 国/地域番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。
- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は日本国内とは異なります。

ご利用できるサービス

通信サービス	3G
音声電話※1	○
テレビ電話※1	○
SMS※2	○
iモード※3	○
iモードメール	○
iチャネル※3※4	○
iコンシェル※5	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○

○:利用できます。

※1 2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。

※2 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。

※3 iモード海外利用設定が必要となります。

※4 iチャネル海外利用設定が必要となります。ベーシックチャネルの情報の自動更新もパケット通信料がかかります(日本国内ではiチャネル利用料に含まれます)。

※5 iコンシェルの海外利用設定が必要となります。インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および海外通信事業者については、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

滞在国外に電話をかける

1 待受画面で[0](1秒以上)▶国／地域番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力

- 日本に国際電話をかける場合は、国／地域番号に「81」を入力してください。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 [発信]を押して電話をかける

- [TV](テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

滞在国内に電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

2 [発信]を押して電話をかける

- [TV](テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

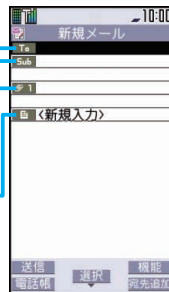
相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

メール

iモードメールを送信する

iモードを契約するだけで、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル(写真や動画ファイルなど)を10個まで添付できます。詳細については、「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

1 待受画面で[✉]▶[✉](New)

2 各項目を入力

3 [✉](送信)を押す

4 「OK」を選択

デコメール®を送信する

文字の色・大きさや背景色を変えたり、画像やデコメ絵文字®を挿入できます。

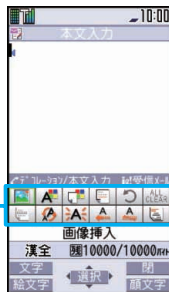
1 **待受画面で(✉)▶(✉)(New)**

- 「テンプレート」を選択して、作成することもできます。

2 **宛先や題名を入力**

3 **本文欄を選択**
▶(i)(機能)
▶デコレーション
▶パレットからデコレーションを選択
▶本文を入力
▶(●)(確定)

4 **(✉)(送信)を押す**

5 **「OK」を選択**

デコメアニメ®を送信する

メッセージや画像をFlash画像に挿入して表現力豊かなメールを作成できます。

1 **待受画面で(✉)▶新規デコメアニメ作成**

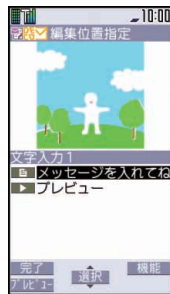
2 **宛先や題名を入力**

3 **本文欄を選択**
▶「本体」を選択
▶デコメアニメ®
テンプレートを選んで(✉)(メール作成)

4 **文字や画像を編集▶(✉)(完了)**

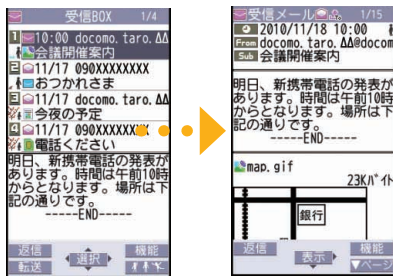
5 **(✉)(送信)を押す**

6 **「OK」を選択**

つながる

受信したｉモードメールを見る

1 **待受画面で✉▶受信BOX**

2 **フォルダを選択**

3 **ｉモードメールを選択**

ｉモードメールを受信すると、
待受画面に「✉」が表示されます。

ｉモードメールに返信する

1 **ｉモードメール表示中に✉（返信）を押す**

2 **各項目を入力**

3 **✉（送信）を押す**

4 **「OK」を選択**

ｉモードメールを転送する

1. ｉモードメール表示中に（機能）▶返信／転送▶転送
2. 各項目を入力
3. ✉（送信）を押す
4. 「OK」を選択

つながる

■ｉモードメールが届いているか問い合わせる

ｉモードセンターに新着ｉモードメールやメッセージR/Fを問い合わせます。

待受画面で✉を1秒以上押す

ｉモードメールやメッセージR/Fを受信すると、次の画面が表示されます。

件数
選択すると、各項目を表示できる画面になります。

■ｉモードメールを振り分ける

あらかじめ「仕事」「友人」などのフォルダを作成しておくと、「自動振分け設定」を使って受信／送信メールを振り分けることができます。

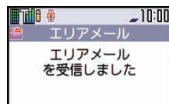
<例>電話帳に登録しているアドレスからのメールをフォルダに振り分ける

1. **受信BOXでフォルダを選んで ◎（機能）▶振分け▶自動振分け設定**
2. **「アドレス振分け」を選択**
3. **「アドレス参照入力」を選択▶「電話帳」を選択**
4. **電話帳を検索して目的のメールアドレスを選択**

緊急速報「エリアメール」

■エリアメールを受信する

気象庁から配信される緊急地震速報などをエリアメールとして受信できます。
エリアメールを受信すると「 」が点灯し、エリアメール専用のブザー音が鳴ります。
受信内容が自動で表示されるものもあります。表示を消すには◉を押します。

- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。

■エリアメールの設定をする

1 待受画面で✉ ▶緊急速報「エリアメール」設定

2 設定する項目を選択▶各項目を設定

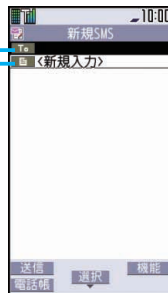
- 「着信音確認」でエリアメール受信時のFOMA端末の動作を確認することもできます。

SMSを利用する

相手の携帯電話番号宛にメッセージを送信できます。

■SMSを送信する

1 待受画面で✉ ▶SMS作成

2 各項目を入力

3 ✉（送信）を押す

4 「OK」を選択

受信したSMSを見る

1 **待受画面で(✉)▶受信BOX**

2 **フォルダを選択**

3 **SMSを選択**

SMSを受信すると、待受画面に「✉」が表示されます。

電話帳

電話帳に登録する

新しい電話番号／メールアドレスなどを登録する

FOMA端末(本体)またはFOMAカードの電話帳に登録します。

1 **待受画面で(○)を1秒以上押す**

2 **「本体」を選択**

名前の入力画面が表示されます。入力して次に進みます。

FOMAカードの電話帳に登録するときは

「FOMAカード(UIM)」を選択します。

3 **各項目を入力**

4 **(✉)(完了)を押す**

■リダイヤル／着信履歴から電話帳に登録する

1 待受画面で（リダイヤル）または（着信履歴）を押す

2 履歴を選んで（機能）▶「電話帳登録」を選択

3 「本体」を選択▶「新規登録」を選択

4 各項目を入力

5 （完了）を押す

電話帳に誕生日を登録すると、
スケジュールに表示されます。

電話帳を修正する

1 待受画面で▶電話帳を検索して選択

2 （編集）▶修正したい項目を選択▶内容を修正

3 （完了）を押す

4 「YES」を選択

電話帳を削除する

1 待受画面で▶電話帳を検索して選択

2 （機能）▶「電話帳削除」を選択

3 「1件削除」を選択

4 「YES」を選択

ｉモード／フルブラウザ

ｉモードサイトを表示する

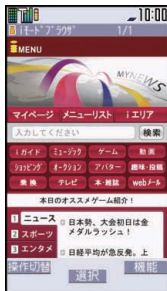
ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末(以下ｉモード端末)のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- FOMA端末ではSSL/TLS※対応のページを表示できます。

  ※SSL/TLSは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。

1 待受画面で(iα)を押す

ｉMenuに接続します。項目(リンク先)の選択を繰り返して目的のサイトを表示します。

- 通信中は「⇕」が点滅します。

■ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画・動画・メロディなど)、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

パソコン向けのホームページを表示する

パソコン向けに作成されたインターネットホームページを、フルブラウザの機能を利用して閲覧できます。

- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
- フレームで構成されたインターネットホームページも閲覧できます。また、選択したフレームごとに表示することもできます。

1 待受画面でメニュー▶ｉモード▶フルブラウザホーム

- お買い上げ時の状態では、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。

- インターネットホームページによっては表示できない場合や正しく表示できない場合があります。

ブラウザを切り替える

ｉモードで正しく表示できなかったインターネットホームページをフルブラウザに切り替えて表示します。

- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。

1 ｉモードでページを表示中にiα（機能）▶フルブラウザ▶フルブラウザ切替

2 「YES」を選択

フルブラウザからｉモードに切り替えるには

1. フルブラウザでサイトを表示中にiα（機能）▶ｉモードブラウザ▶ｉモードブラウザ切替

しらべる

サイトの見かたと操作

サイト表示中の操作

画面のスクロール･反転表示の移動･ポインタの移動：

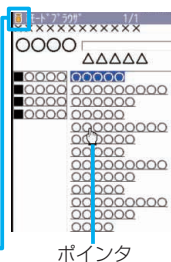
項目(リンク先)の選択：(選択)

前のページへ戻る：(メニュー)(戻る)

次のページへ進む：(TV)(進む)

消音／消音解除：(クリア)(1秒以上)

フルブラウザで接続中は「FB」と表示されます。

ポインタ

よく見るサイトを登録する

よく利用するホームページやサイトをBookmarkに登録しておくと、簡単に接続できます。

1 サイト表示中に(iα)(機能)▶Bookmark▶Bookmark登録

2 「YES」を選択▶登録したいフォルダを選択

登録したサイトに接続するには

1. 待受画面で(メニュー)▶ｉモード▶Bookmark
2. フォルダを選択▶Bookmarkを選択

サイトの内容を保存する

一度表示したページを画面メモとして保存しておくと、ｉモード接続せずに簡単に参照できます。

1 サイト表示中に(iα)(機能)▶画面メモ▶画面メモ保存

2 「本体」を選択▶「YES」を選択▶保存したいフォルダを選択

保存した画面メモを表示するには

1. 待受画面で(メニュー)▶ｉモード▶画面メモ
2. 「ｉモードブラウザ」または「フルブラウザ」を選択
3. フォルダを選択▶画面メモを選択

- サイト側で画面メモを保存できないように設定している場合など、サイトによっては画面メモを正しく保存できないことがあります。

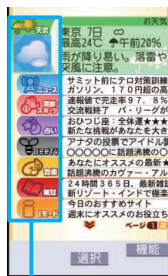
しらべる

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、ｉチャネル対応ボタンを押すことで最新情報がチャネル一覧画面に表示されます。
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。
お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。
「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」共に詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- ｉチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

ｉチャネルに接続する

1 待受画面で◎を押す

各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

テロップの文字サイズは以下で変更できます。
1. 待受画面で（メニュー）▶ｉモード▶ｉチャネル
2. 「テロップ文字サイズ設定」を選択
3. 項目を選択

しらべる

撮影画面の見かたと操作

メニュー

各種設定を確認できます。

撮影モード選択

:通常撮影

- 撮影するシーンに合わせてモードを選択する「シーン」も利用できます。

画像サイズ設定

:WVGA(480×854)

画質設定

:スーパーファイン

ISO設定

:1600オート

保存先設定

:本体(カメラ)

フォーカス設定

:顔認識

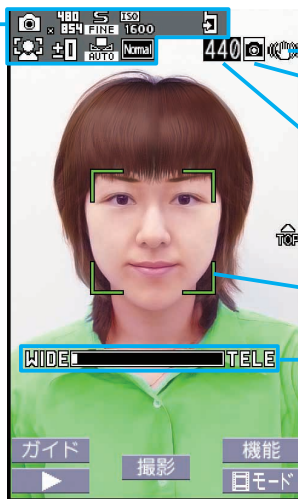
明るさ調節

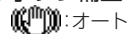
:明るさ±0

ホワイトバランス

:オート

色調切替

:通常

デジカメモードの場合

手ブレ補正

:オート

カメラモード

:デジカメモード

記録可能枚数

静止画の残り撮影可能枚数を表示します。

天地アイコン

撮影時の上下方向を示します。

フォーカス枠

フォーカスが合うと緑色になります。

ズームバー

望遠・広角の状態を表示します。

撮影画面の操作

シャッター・保存:◉または(O)

ズーム操作:(望遠)・(広角)

フォーカス機能:またはⓧ

カメラモード切替:

- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

静止画／動画を撮影する

■静止画を撮影する（デジカメモード）

待受（240×428）〜5M（1944×2592）のサイズの静止画を撮影します。

1 待受画面で（TV）を押す

2 ●（ 撮影 ）を押す

設定した保存先に自動的に保存されます。

静止画を撮影する（フォトモード）

Sub-QCIF（128×96）〜 WVGA（480×854）のサイズの静止画を撮影します。

1. 待受画面で（メニュー）▶カメラ▶フォトモード
2. ●（ 撮影 ）▶●（ 保存 ）

■動画を撮影する

1 待受画面で（TV）▶（TV）（ モード ）

2 ●（ 撮影 ）を押して録画を開始 ▶●（ 終了 ）を押して録画を終了

3 ●（ 保存 ）を押す

撮影した静止画／動画を見る

撮影した静止画はデータBOX内の「マイピクチャ」に、動画は「ｉモーション／ムービー」に保存されます。

静止画／動画は待受画面などに設定することができます。

1 待受画面で（メニュー）▶データBOX ▶マイピクチャまたはｉモーション／ムービー

2 「カメラ」を選択 ▶静止画または動画を選択

ピクチャアルバム

撮影した静止画から人物の顔を検出して拡大したり、検出した顔に補正効果をかけることもできます。また、エフェクト機能を利用して表現力豊かなスライドショーを再生できます。

1. 待受画面で（メニュー）▶データBOX▶マイピクチャ▶ピクチャアルバム
2. 「カメラ」を選択▶静止画を選択

- デジカメモード、フォトモードの撮影画面で（メニュー）（ ▶ ）を押してもピクチャアルバムで静止画を表示できます。

たのしむ

さまざまな方法で撮影する

■連写モードで撮影する

1 フォトモード・ムービーモードの撮影画面で (機能)▶カメラモード切替 ▶連写モード

2 (撮影)を押す

3 静止画を選んで (詳細) ▶ (保存)

- (全保存)を押すと、すべての静止画を保存できます。

■オートシャッターで撮影する

顔認識で認識した顔の人数や距離を判別して自動で撮影します。

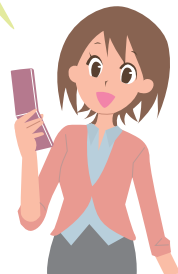
<例>3人で「グループシャッター」を使って撮影する

1 デジカメモードの撮影画面で (機能)▶オートシャッター

2 「グループシャッター」を選択

3 「3人」を選択

3人の顔を認識するとセルフタイマーが作動し、約3秒後に撮影されます。
設定した保存先に自動的に保存されます。

「ラブシャッター」では検出された顔の距離や状態によって自動で撮影されます。

ワンセグのご利用にあたって

■ワンセグのご利用にあたって
ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
※「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
※「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/　　ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/
※海外ではワンセグは利用できません。
■電波について
ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。
次のような場所では、正しく動作しない場合があります。
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など

※FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。
■電池残量について
電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとすると、電池残量警告音が鳴り、起動するかどうかの確認画面が表示されます。また、視聴中や録画中に電池残量が少なくなると、電池残量警告音が鳴ります。
- 確認画面で約1分間何も操作しないと、自動的にワンセグが終了します。

■初めてワンセグを利用する場合の画面表示
お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
◎（OK）を押したあとに表示される確認画面で「NO」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

チャンネルを設定する

はじめてワンセグをご利用になるときや地域が変わったときなどは「チャンネル設定」を行う必要があります。「自動チャンネル設定」を行うと、受信できる放送局を自動で検索します。

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で設定してください。

1 待受画面で(メニュー)▶ワンセグ▶チャンネル設定▶自動チャンネル設定

2 「YES」を選択

3 「YES」を選択▶タイトルを入力

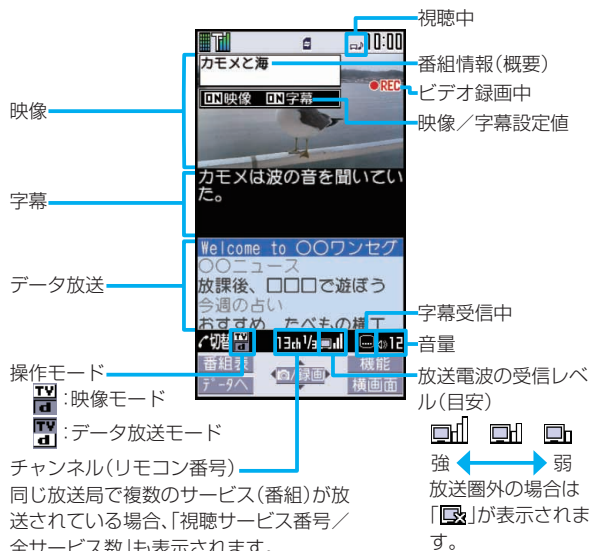
地域を選択して設定するときは

1. 待受画面で(メニュー)▶ワンセグ▶チャンネル設定▶地域選択
2. 地域を選択▶都道府県を選択
3. 「YES」を選択

ワンセグを見る

1 待受画面で(TV)を1秒以上押す

ワンセグが起動し、視聴画面が表示されます。

視聴画面の見かたと操作

同じ放送局で複数のサービス(番組)が放送されている場合、「視聴サービス番号／全サービス数」も表示されます。

視聴画面の操作

チャンネル切替：または▲▼(1秒以上)

音量調節：または▲▼

ビデオ録画：(📷/録画)(1秒以上)

- 録画したビデオはmicroSDカードに保存されます。

映像／データ放送切替：メニュー

表示方向切替／全画面切替：📷TV

ワンセグの視聴／録画を予約する

日時、チャンネル、番組名などを設定して視聴予約／録画予約を登録します。設定した日時になると、自動的に視聴／録画を開始します。

1 **待受画面でメニュー▶ワンセグ**

2 **「視聴予約リスト」または「録画予約リスト」を選択**

3 **✉(新規)を押す**

4 **各項目を入力**

5 **✉(完了)を押す**

録画したビデオを再生する

1 **待受画面でメニュー▶データBOX▶ワンセグ**

2 **「ビデオ」を選択▶ファイルを選択**

Music&Videoチャネルについて

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービスの契約が必要です。)
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

番組を設定する

1 待受画面で(メニュー)▶MUSIC▶Music&Videoチャネル▶番組設定

2 画面に従って番組の設定操作を行う

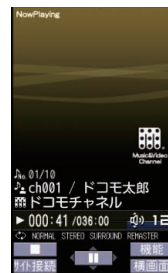
番組の取得は夜間に自動的に行われます。

番組を再生する

1 待受画面で(メニュー)▶MUSIC▶Music&Videoチャネル

2 番組を選択

Music&Videoチャネル再生時の操作

停止:(✉)(■)
一時停止:(●)(❚❚)
音量調節:(○)または▲▼
早送り:(○)(押し続ける)
早戻し:(○)(押し続ける)

着うたフル®をダウンロードする

サイトから着うたフル®をダウンロードします。

1 着うたフル®ダウンロードが可能なサイトで着うたフル®を選択

2 「保存」を選択▶「YES」を選択

3 保存したいフォルダを選択

- 「着うたフル」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

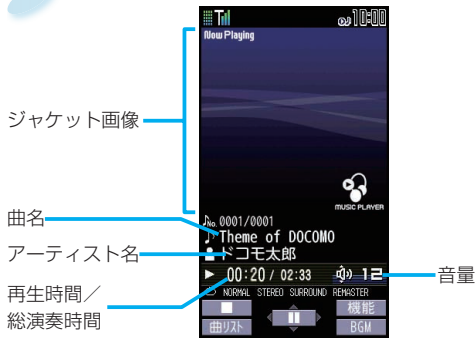
■音楽データの取り扱いについて

microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご使用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。

音楽データを再生する

ミュージックプレーヤーでは、サイトからダウンロードした着うたフル®やパソコンを利用してmicroSDカードに保存したWindows Media® Audio(WMA)ファイルなどを再生できます。

1 待受画面で(メニュー)▶MUSIC ▶ミュージックプレーヤー

2 「全曲」を選択▶曲を選択

ミュージックプレーヤー画面の操作

停止：(✉)(■)

一時停止：(●)(❚❚)

早送り：(○)(押し続ける)

早戻し：(○)(押し続ける)

音量調節：(○)または▲▼

次の曲：(○)または▼(1秒以上)

前の曲または頭出し：(○)または▲(1秒以上)

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。
ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。

- ｉアプリをダウンロードする場合は別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

ｉアプリを起動する

1 待受画面で（ｉα）を1秒以上押す

2 ソフトを選択

サイトからｉアプリをダウンロードする

1 ｉアプリダウンロードが可能なサイトでソフトを選択

2 ダウンロードが完了したら「OK」を選択

3 「YES」を選択

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。
  P-SQUAREでは、ｉアプリだけでなく、お買い上げ時に登録されているキャラ電、マチキャラ、きせかえツール、テンプレート、辞書、デコメ絵文字®をダウンロードできます。
  ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

- 再ダウンロードサービス期限
  ・「モバイルGoogleマップ」：2013年9月末日
  ・「リバーシ」「ハイパー四川省」：2014年3月末日
- 再ダウンロードサービスは、期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。

ｉモーション／ムービー

ｉモーションは、映像や音声、音楽のデータで、ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み再生できます。また、ｉモーションを着信音に設定することもできます。また、高速通信を利用して、インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されている様々なムービーを、滑らかに高画質で再生できます。

- ｉモーション／ムービーのダウンロード、ストリーミング時には大容量データを受信する可能性があります。送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスのご利用をおすすめします。
- ｉモーション／ムービーには、ストリーミングタイプと標準／ダウンロードタイプの2種類があります。

種類	説明
ストリーミングタイプ（保存不可）	受信しながら同時に再生を行います。
標準／ダウンロードタイプ（保存可）	取得が完了するとデータ取得完了の画面が表示され、再生、保存などの操作ができます。

ｉモーション／ムービーを取得する

1 ｉモーション／ムービー取得可能なサイトでｉモーション／ムービーを選択

2 「保存」を選択▶「YES」を選択

3 保存したいフォルダを選択

ｉモーション／ムービーを再生する

1 待受画面でメニュー▶データBOX ▶ｉモーション／ムービー

2 フォルダを選択 ▶ｉモーションまたはムービーを選択

ｉコンシェル

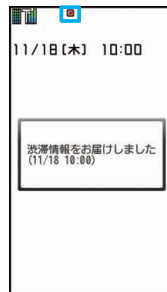
「ｉコンシェル」とは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、生活エリアやお客様の居場所、趣味趣向に合わせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されているスケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

- ｉコンシェルの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）」をご覧ください。
- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）
- ケータイデータお預かりサービスのご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉスケジュール・トルカ・電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。

インフォメーションを受信する

1 インフォメーションを受信すると [C] が点滅し、待受画面に内容が表示される

2 メッセージを選択

ｉコンシェルを表示する

1 待受画面で（メニュー）▶ ｉコンシェル

2 インフォメーションを選択

便利ツール

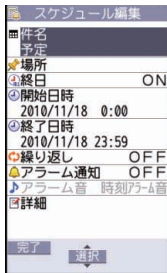
スケジュールを利用する

1 待受画面で(メニュー)▶ステーショナリー▶スケジュール

日付を選択すると選択した日付のスケジュールが表示されます。スケジュールを選択すると内容を確認できます。

2 (iアプリ)(機能)▶「新規登録」を選択

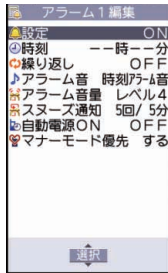
新しくスケジュールを登録します。

3 各項目を入力

4 (メール)(完了)を押す

アラームを利用する

1 待受画面で(メニュー)▶ステーショナリー▶アラーム

2 アラームを選んで(メール)(編集)を押す

3 各項目を入力

4 (メール)(完了)を押す

- 公共モード(ドライブモード)中、オールロック中、パーソナルデータロック中、おまかせロック中はアラーム音は鳴りません。

より便利に

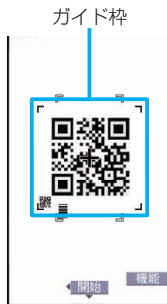
バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってQRコードなどを読み取り、データとして登録できます。
データを使って電話をかけたり、iモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。
  フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

ガイド枠

開始　機能

■QRコードとは

縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

■コード読み取り

<例>右記のQRコードを利用して
　　　P-SQUAREに接続する

サイト接続用QRコード

1 **待受画面で(メニュー)▶LifeKit ▶バーコードリーダー**

2 **「コード読み取り」を選択**

3 **コードをガイド枠に合わせて(○)を押す**
オートフォーカス機能でフォーカスが合います。

4 **(●)(開始)を押してコードを読み取る**
読み取り結果としてURLが表示されます。

5 **URLを選択▶「iモードブラウザ」を選択▶「YES」を選択**

データ管理

microSDカードを利用する

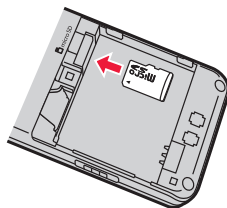
microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。

- P-07Bでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。（2010年7月現在）
  microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  ・iモードから
  P-SQUARE（2010年7月現在）
  iMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
  ・パソコンから
  http://panasonic.jp/mobile/

サイト接続用QRコード

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け／取り外しをするときは、必ずFOMA端末の電源を切ってから行ってください。

■microSDカードを取り付ける／取り外す

1 金属端子面を下にし、切り込みの部分が右側になっていることを確認して差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

microSDカードを取り外すときは

microSDカードをいったん奥まで押し込み、抜き取ります。

より便利に

画面表示について

11/18(木) 10:00

:microSDカード装着中

:データ読み込み/書き込み中
(microSDカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。)

:ライトプロテクトがかかっています。

:使用不可
(microSDカードを取り付け直してください。それでも「」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。)

■microSDカードをフォーマットする

microSDカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。

- フォーマットは必ずP-07Bで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは正常に使用できない場合があります。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 待受画面で(メニュー)▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶(i-α)(機能)▶microSDフォーマット

2 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

■データをmicroSDカードへコピーする

<例>静止画を1件コピーする

1 **待受画面でメニュー▶データBOX ▶マイピクチャ▶フォルダを選択**

2 **コピーしたい画像を選んで(機能) ▶「microSDへコピー」を選択 ▶「1件コピー」を選択**

■データをFOMA端末へコピーする

<例>静止画を1件コピーする

1 **待受画面でメニュー▶データBOX ▶マイピクチャ▶メニュー(microSD) ▶フォルダを選択**

2 **コピーしたい画像を選んで(機能) ▶「本体へコピー」を選択 ▶「1件コピー」を選択**

■microSDカード内のデータを表示する

<例>静止画を表示する

1 **待受画面でメニュー▶データBOX ▶マイピクチャ▶メニュー(microSD)**

2 **フォルダを選択▶画像を選択**

保存容量を確認するときは

microSDカードの空き容量と保存容量の目安を確認できます。

1. 待受画面でメニュー▶LifeKit▶microSD ▶microSDデータ参照
2. (機能)▶「microSD情報表示」を選択

より便利に

データをmicroSDカードにバックアップする

FOMA端末内に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、Bookmark、FOMA端末の設定内容・情報を一括してmicroSDカードにバックアップします。バックアップデータをFOMA端末に復元する場合も一括して復元します。

- バックアップはバックアップ項目のデータすべてを一括して行うため、データが1件も登録されていない項目もバックアップデータが作成されます。そのようなバックアップデータを復元した場合、バックアップ時にデータが1件も登録されていない項目についても上書きされます。

1 待受画面で(メニュー)▶LifeKit▶microSD ▶バックアップ/復元 ▶microSDへバックアップ

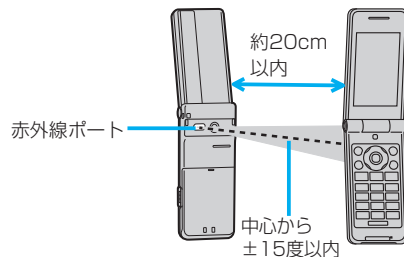
2 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

バックアップデータをFOMA端末に復元するには

1. 待受画面で(メニュー)▶LifeKit▶microSD ▶バックアップ/復元▶本体へ復元
2. 端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

赤外線通信を使ってデータを送受信する

赤外線通信機能を持つ機器との間で電話帳などのデータを送受信できます。

- 相手機器、FOMA端末によっては送受信できないデータがあります。

■データを送信する

- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。

1 送信したいデータの機能メニュー ▶「赤外線送信」を選択

- データによっては操作が異なる場合があります。

2 「YES」を選択

■データを受信する

1 待受画面で(メニュー)▶LifeKit▶赤外線受信 ▶受信

2 「YES」を選択

パソコンと接続する

FOMA端末とパソコンを接続して、microSDカード内のWMAファイルや画像などをやりとりできます。
また、インターネットに接続して、データ通信を行うこともできます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)が必要です。
- データ通信を行うには、付属のCD-ROMから「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールする必要があります。
  詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新についてはP.79参照。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

電源

FOMA端末の電源が入らない

…電池パックが正しく取り付けられていますか。(P.16参照)
…電池切れになっていませんか。(P.17参照)

充電

充電ができない
(充電ランプが点灯しない、または点滅する)

…電池パックが正しく取り付けられていますか。(P.16参照)
…アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
…アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。(P.17参照)
…ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ(別売)にしっかりと接続されていますか。(P.17参照)
…卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れているときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
…充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して着信／充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(P.17参照)

端末操作

操作中・充電中に熱くなる

…操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

…圏外の状態で長い時間放置するようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。

…電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。

…電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

電源断・再起動が起きる

…電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れているときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

ボタンを押しても動作しない

…オールロックを設定していませんか。(P.35参照)

…ボタンロックを設定していませんか。(P.36参照)

…サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定していませんか。

FOMAカードが認識されない

…FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。(P.16参照)

通話

ダイヤルボタンを押しても発信できない

…ダイヤル発信制限を設定していませんか。

…指定発信制限を設定していませんか。

…オールロックを設定していませんか。(P.35参照)

…セルフモードを設定していませんか。

通話ができない
(場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)

…電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを入れ直してください。(P.16、P.18参照)

…電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は「」を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。

…指定着信拒否、指定着信許可など着信制限を設定していませんか。

…電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

保証とアフターサービス

■保証について

• FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
• この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

■アフターサービスについて

◎調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたナビ」の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

・故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

◎お願い

• FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  ・改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・ディスプレイやボタン部にシールなどを貼る
    ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
• FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカー、受話口部
- FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

iモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- 「iモード故障診断サイト」への接続方法
  iモードサイト:iMenu→お知らせ→サポート情報→お問い合わせ→故障・電波状況お問い合わせ先→iモード故障診断

サイト接続用QRコード

- iモード故障診断時のパケット通信料は無料となります。(海外からのアクセスの場合は有料になります)

その他

ソフトウェア更新

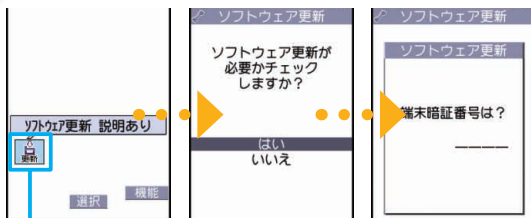
FOMA端末のソフトウェアを更新する必要がある場合に、パケット通信を使って更新する機能です。
※ソフトウェア更新のパケット通信料は無料です。
　更新に関する情報は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内いたします。更新方法には、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

■ご利用にあたって

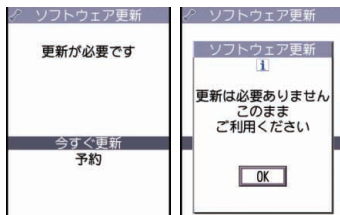
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。（ダウンロード中は音声着信が可能です。）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

■アイコンからソフトウェアを更新する

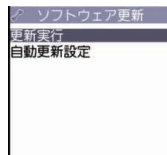
1 待受画面で「更新お知らせアイコン」を選択

更新お知らせアイコン

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックします。

2 ソフトウェア更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示され、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

- 「今すぐ更新」を選択した場合は、すぐに更新を行います。
- 書き換えが終了すると、自動的に再起動し、更新完了の確認画面が表示されます。
- 「予約」を選択した場合は、希望日時を選択できます。

■メニューからソフトウェア更新をする

1 待受画面で(ﾒﾆｭｰ)▶設定／サービス▶その他▶ソフトウェア更新

2 端末暗証番号を入力▶「更新実行」を選択

3 P.80「アイコンからソフトウェアを更新する」手順2へ進みます。

有害なデータをチェックする

スキャン機能について

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防げませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

パターンデータを更新する

■まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

待受画面で(メニュー)▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶パターンデータ更新▶YES▶YES▶OK

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

以下の問題を検出しました
他XXXX件
問題要素名1
問題要素名2
問題要素名3
問題要素名4
問題要素名5

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面で「詳細」を選択すると問題要素の名前が表示されます。

- **問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。**
- **検出した問題要素によっては、「詳細」が表示されない場合があります。**

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない場合があります OK 詳細	正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ YES NO 詳細	正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細	正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ YES NO 詳細	正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細
OK ...動作を継続します。	YES ...動作を中止し、終了します。 NO .....動作を継続します。	OK ...動作を中止し、終了します。	YES ...データを削除し、終了します。 NO .....動作を中止し、終了します。	OK ...データを削除し、終了します。

- ｉモードメールやSMSを表示する際の警告画面は、左記の画面と異なる場合があります。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック P20
・リアカバー P45
・FOMA ACアダプタ 01/02※1
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1
・FOMA DCアダプタ 01/02
・FOMA 補助充電アダプタ 01
・FOMA乾電池アダプタ 01
・卓上ホルダ P41
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※2
・FOMA USB接続ケーブル※2
・FOMA室内用補助アンテナ※3
・FOMA室内用補助アンテナ(スタンドタイプ)※3
・キャリングケースL 01
・キャリングケース 02
・車内ホルダ 01
・イヤホンマイク 01
・ステレオイヤホンマイク 01
・スイッチ付イヤホンマイク P001/P002※4
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02※5
・平型ステレオイヤホンセット P01※5
・イヤホンジャック変換アダプタ P001※5
・外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
・イヤホン変換アダプタ 01
・平型コネクタ・ステレオミニジャック変換アダプタ P01※5
・骨伝導レシーバマイク 01※5
・車載ハンズフリーキット 01※6
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01

※1 ACアダプタでの充電方法についてはP.17参照。
※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 日本国内で使用してください。
※4 イヤホンジャック変換アダプタ P001と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※5 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※6 P-07Bを利用／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。

機能一覧表

の項目はP.37「各種機能の設定をリセットする」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。

分類	項目	詳細
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	新規メール作成	
	新規デコメアニメ作成	
	テンプレート	デコメール
		デコメアニメ
	ｉモード問い合わせ	
	SMS作成	
	SMS問い合わせ	
	メール選択受信	
	メール設定	スクロール設定
		文字サイズ設定
		メール一覧表示設定
		本文表示設定
		メールセキュリティ設定
		シークレットメール表示設定
		カラーラベル自動設定
		返信時自動学習設定
		冒頭文／署名設定
		ｉモード問い合わせ設定
		メッセージ自動表示設定
		受信表示設定
		メール選択受信設定
		添付ファイル優先受信
		添付ファイル自動再生設定
		アドレス･迷惑メール設定
		Feel＊Mail設定
		編集時自動保存設定
		本文入力時予測
		メール設定確認
	SMS設定	SMS送達通知設定
		SMS有効期間設定
		SMS本文入力設定
		SMS center設定
	緊急速報「エリアメール」設定	受信設定
		ブザー鳴動時間
		マナー／公共モード時設定
		着信音確認
		その他

分類	項目	詳細
ｉモード	ｉMenu検索	
	Bookmark	
	画面メモ	ｉモードブラウザ
		フルブラウザ
	ラストURL	
	URL入力	
	ｉチャネル	チャネル一覧
		テロップ表示設定
		テロップ文字サイズ設定
		テロップ色設定
		テロップ速度設定
		ｉチャネル初期化
	ブログ投稿	

iモード	iモード設定	iモードブラウザ設定
		フルブラウザ設定
		共通設定
		iモード設定確認
		iモード設定リセット
	フルブラウザホーム	

iアプリ	ソフト一覧（本体）	
	iアプリ（microSD）	ソフト一覧
		iアプリデータ
	iアプリ実行情報	待受画面終了情報
		セキュリティエラー履歴
		自動起動情報
		トレース情報
	iアプリ設定	自動起動設定
		ソフト情報表示設定
		iアプリ音量設定
		iアプリ音優先設定
		α照明設定
		α省電力設定
		αバイブレータ
		iアプリ設定確認

設定／サービス	サウンド	着信音選択（メニュー13）
		着信音量（メニュー50）
		ボタン確認音（メニュー30）
		メロディ効果（メニュー64）
		イヤホン切替設定（メニュー51）
		メール／メッセージ鳴動（メニュー68）
		充電確認音
	ディスプレイ	画面表示設定（メニュー56）
		照明設定（メニュー70）
		ビューブラインド
		カラーテーマ設定（メニュー86）
		マチキャラ
		メニューアイコン設定（メニュー57）
		プライベートメニュー設定（メニュー52）
		デスクトップ（メニュー63）
		プライベートウィンドウ（メニュー93）
		フォント設定（メニュー66）
		文字サイズ設定
		バイリンガル（メニュー15）
		オープン新着表示
		画質モード設定
		液晶AI
		表示アイコン説明（メニュー36）
	イルミネーション	イルミネーション一括設定
		着信イルミネーション（メニュー89）
		通話中イルミネーション
		不在未読イルミネーション
		Music&Video Chイルミネーション
		クローズイルミネーション
		時報イルミネーション

設定／サービス		
	イルミネーション	ミュージックイルミネーション
		設定確認
	きせかえ	
	i コンシェル	インフォメーション表示設定
	ロック／セキュリティ	セルフモード
		オールロック
		パーソナルデータロック
		シークレットモード(メニュー40)
		シークレット専用モード(メニュー41)
		シークレット着信履歴表示
		ダイヤル発信制限
		登録外着信拒否
		非通知着信設定(メニュー10)
		端末暗証番号変更(メニュー29)
		FOMAカード(UIM)設定
		スキャン機能
		ロック設定
	時間／料金	通話時間／料金(メニュー61)
		積算リセット(メニュー60)
		通話料金通知
		上限値アイコン消去
	時計	時計設定(メニュー31)
		ワールドウォッチ
		サマータイム
		自動電源ON ／ OFF設定
		アラーム通知設定
	着信	バイブレータ(メニュー54)
		マナーモード選択(メニュー20)

設定／サービス		
	着信	着信アンサー設定(メニュー58)
		オープン設定
		履歴表示設定
		電話帳画像着信設定
		発着信番号表示設定
		呼出時間表示設定(メニュー90)
		確認機能設定(メニュー65)
		パケット通信中着信設定
		自動発着信設定
		メロディコール設定
	通話	受話音量
		クローズ動作設定(メニュー18)
		保留音設定
		しっかりトーク
		ノイズキャンセラ(メニュー76)
		通話品質アラーム(メニュー75)
		再接続機能(メニュー77)
	テレビ電話	受信画質設定
		画像選択
		テレビ電話ハンズフリー設定
		音声自動再発信
		テレビ電話切替機能通知
		テレビ電話着信拒否
	ネットワーク設定	プレフィックス設定
		フェムトセル設定
	NWサービス	発信者番号通知(メニュー17)
		留守番電話
		キャッチホン
		転送でんわ
		迷惑電話ストップ
		番号通知お願いサービス

設定／サービス	NWサービス	2in1設定
		マルチナンバー
		通話中の着信動作選択
		通話中着信設定
		遠隔操作設定
		デュアルネットワーク
		英語ガイダンス
		海外ネットワークサーチ
		海外設定
		海外用サービス
		追加サービス
		ドコモへのお問い合わせ
		OFFICEED
		着もじ
	その他	サイドボタン操作
		マルチボタン長押し登録
		文字入力方式（メニュー35）
		電池／ecoモード設定
		ポーズダイヤル（メニュー84）
		サブアドレス設定
		イヤホンマイク設定
		ボイス設定
		USBモード設定
		設定確認
		設定リセット（メニュー23）
		端末初期化
		ソフトウェア更新

データBOX	マイピクチャ（メニュー46）	
	ミュージック	
	Music&Videoチャネル	
	ｉモーション／ムービー	
	メロディ（メニュー16）	
	マイドキュメント	
	きせかえツール	
	マチキャラ	
	キャラ電	
	ワンセグ	イメージ
		ビデオ
		しおり
	ドキュメントビューア	
	フォント	
	SDその他ファイル	

その他

LifeKit	バーコードリーダー	コード読み取り
		保存データ一覧
	赤外線受信(メニュー79)	受信
		全件受信
	microSD	microSDデータ参照
		バックアップ／復元
	トルカ	トルカ一覧
		設定
	伝言メモ／音声メモ(メニュー55)	メモの再生／消去
		テレビ電話メモの再生／消去
		伝言メモ設定
		音声メモ録音
		おしゃべり機能
	ボイスレコーダー	
	ケータイデータお預かりサービス	データ確認／更新方法等
		通信履歴表示
		電話帳内画像送信設定
		電話帳等お預かり／更新
		設定のお預かり／更新
		画像のお預かり
	FOMA通信環境確認	
	使いかたナビ	

i コンシェル

電話帳	電話帳登録	本体
		FOMAカード(UIM)
	電話帳検索	フリガナ検索
		グループ検索
		メモリ番号検索
		名前検索
		電話番号検索
		アドレス検索
		ツータッチダイヤル検索
	FOMAカード(UIM)操作	コピー
		削除
	発着信履歴(メニュー24)	発信履歴
		着信履歴
	自局番号表示(メニュー0)	
	グループ設定	
	電話帳指定設定	指定発信制限
		指定着信拒否
		指定着信許可
		指定転送でんわ
		指定留守番電話
	電話帳設定(メニュー26)	文字サイズ設定
		ボイスダイヤル設定
		メールグループ
		電話帳画像転送
	電話帳登録件数	

ステーショナリー	アラーム(メニュー44)	
	スケジュール(メニュー45)	
	ToDo(メニュー95)	
	テキストメモ(メニュー42)	
	電卓(メニュー85)	
	定型文／ユーザ辞書(メニュー38)	定型文
		ユーザ辞書
		ダウンロード辞書
		学習履歴作成

MUSIC	ミュージックプレーヤー
	Music&Videoチャネル

ワンセグ	ワンセグ視聴	
	番組表	
	視聴予約リスト	
	録画予約リスト	
	予約録画結果	
	テレビリンク	
	チャンネルリスト選択	
	チャンネル設定	地域選択
		自動チャンネル設定
	ユーザ設定	表示／操作設定
		映像設定
		照明設定
		サウンド効果
		録画設定
		データ放送設定
		ワンセグecoモード

ワンセグ	ユーザ設定	チャンネル設定初期化
		放送用保存領域消去
		TV設定リセット
		TV設定確認

カメラ	デジカメモード
	フォトモード
	ムービーモード
	フォト再生
	ムービー再生

その他	プライベートウィンドウの時計表示
	リダイヤル
	公共モード(ドライブモード)
	マナーモード
	ecoモード
	テレビ電話
	文字入力

主な仕様

■本体

品名		P-07B
サイズ(閉じたとき)		高さ:約110mm　幅:約50mm 厚さ:約16.5mm(最厚部:約17.7mm)
質量(電池パック装着時)		約115g
連続待受時間(FOMA/3G)		静止時:約610時間 移動時:約390時間
連続通話時間(FOMA/3G)		音声電話時:約200分 テレビ電話時:約140分
ワンセグ視聴時間		約350分 (ワンセグecoモード時:約420分)
充電時間		ACアダプタ:約120分 DCアダプタ:約120分
ディスプレイ	方式	ディスプレイ:TFT　262,144色 プライベートウィンドウ: 有機EL　1色
	サイズ	ディスプレイ:約2.9inch プライベートウィンドウ:約0.8inch
	画素数	ディスプレイ:102,480画素 (240ドット×427ドット) プライベートウィンドウ:2,400画素 (96ドット×25ドット)
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/4.0inch
カメラ部	有効画素数	約510万画素
	記録画素数(最大時)	約500万画素
記録部	静止画記録枚数※1	最大約2000枚(お買い上げ時)
	静止画連続撮影	VGA:4枚　QVGA:5～10枚 QCIF:5～20枚　Sub-QCIF:5～20枚
音楽再生	連続再生時間※2	SDオーディオ(バックグラウンド再生対応): 約6500分※3 着うたフル®(バックグラウンド再生対応): 約6000分※3 iモーション(着うた®を含む): 約1260分※3 WMAデータ(バックグラウンド再生対応): 約4600分 Music&Videoチャネル (バックグラウンド再生対応) 音声:約6000分　動画:約380分
保存容量	着うた®	約65Mバイト(お買い上げ時)※4
	着うたフル®	

「着うた」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※1:画像サイズ:QVGA(320×240)、画質:ノーマル、ファイルサイズ:25Kバイト

※2:連続再生時間とは、FOMA端末を閉じた状態で、ステレオイヤホンマイク 01(別売)を使用して再生できる時間の目安です。

※3:ファイル形式:AAC形式

※4:静止画、iモーション、メロディ、PDFデータ、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、フォント、トルカ、iアプリと共有

■電池パック

品名	電池パック P20
使用電池	Li-ion(リチウムイオン)電池
電圧	3.7V
容量	800mAh

■撮影の仕様

＜静止画＞

ファイル形式(拡張子)	JPEG(jpg)
P-07Bに保存可能な枚数	最大約2000枚※1、※2
microSDカード(2Gバイト)に保存可能な枚数	最大約61466枚※2

＜動画＞

ファイル形式(拡張子)	MP4、ASF(3gp、asf)
P-07Bに録画可能な時間	最大約497秒※1、※3
microSDカード(2Gバイト)に録画可能な時間	最大約180分※4

＜ズーム(デジタル)＞

デジカメ	ズーム段階	21段階
	最大倍率	約6.0倍
フォト	ズーム段階	21段階
	最大倍率	約10.1倍
ムービー	ズーム段階	21段階
	最大倍率	約10.1倍

※1 お買い上げ時の場合
※2 画像サイズ:QVGA(320×240)、画質設定:ノーマル、ファイルサイズ:25Kバイトの条件で保存できる枚数
※3 画像サイズ:Sub-QCIF(128×96)、動画容量設定:メール制限(大)、画質設定:ノーマル、撮影種別設定:通常の条件で保存できる、1回あたりの最大録画時間
※4 画像サイズ:Sub-QCIF(128×96)、動画容量設定:長時間、画質設定:ノーマル、撮影種別設定:通常の条件でmicroSDカード(2Gバイト)に保存できる、1回あたりの最大録画時間

■ワンセグの録画時間

microSDカード(2Gバイト)に保存可能な最大録画時間(合計)	約640分
microSDHCカード(16Gバイト)に保存可能な最大録画時間(合計)	約5120分

- 最大録画時間は、映像:224kbps、音声:48kbps、データ(字幕含む):52kbpsの場合の目安であり、放送局、番組によって録画時間は異なります。
- SD-VIDEO規格では、連続録画最大ファイルサイズは2Gバイトまでです。

■FOMA端末の保存・登録件数

機能		保存・登録件数
電話帳		1000
スケジュール		2500
メール	受信メール	最大2500※1、※2
	送信メール	最大1000※2
静止画		最大3500※2
iモーション		最大3500※2
Music&Videoチャネル	配信番組	2
	保存番組	最大10※2
きせかえツール		最大3500※2
iアプリ		最大100※2

※1 お買い上げ時に登録されているデータも含めます。
※2 データ量によって実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種P-07Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機P-07BのSARの値は0.787W/kgです。
この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、右記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/
ドコモのホームページ：
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ：
http://panasonic.jp/mobile/

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.735 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

CE0168

The product "P-07B" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

※The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P-07B handset, Battery Pack and FOMA AC Adapter for Global use (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.547 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 0.328 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE110031A.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.
DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

■著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

■商標

- 「FOMA」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「キャラ電」「トルカ」「きせかえツール」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「ｉチャネル」「セキュリティスキャン」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「マチキャラ」「OFFICEED」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「デコメアニメ®」「ｉコンシェル」「ｉスケジュール」「docomo STYLE series」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- ナビダイヤルサービス名称およびナビダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- 「マルチタスク／ Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ワンプッシュオープン™はパナソニック株式会社の商標です。
- Google、モバイルGoogleマップは、Google Inc.の登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■その他

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright © 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- IrFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  The IrDA Feature Trademark is owned by the Infrared Data Association and used under license therefrom.
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite®およびAdobe Reader® Mobile テクノロジーを搭載しています。

  Adobe Flash Lite Copyright © 2003-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright © 1993-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2010 All Rights Reserved.
- テキストプロファイラはオムロン株式会社の商標です。
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・MPEG-4 Visual、AVC、VC-1の規格に準拠する動画(以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ)を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生する場合
  - ・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 「PRINT Image Matching」「PRINT Image MatchingⅡ」「PRINT Image MatchingⅢ」に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

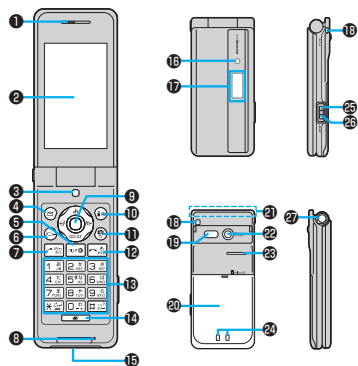
PRINT Image Matching™

- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品に搭載しているWindows Media Technologyはマイクロソフト社および第三者の知的財産権により保護されています。本製品以外にマイクロソフト社およびその関連会社の許可なくその技術を使用することおよび頒布することは禁止されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトもしくはマイクロソフトによる承認を受けた子会社からのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
- コンテンツプロバイダーは、本製品に含まれるWindows Mediaデジタル著作権管理技術(WM-DRM)によってコンテンツの内容を保護し(以下、“保護コンテンツ”といいます)、そのコンテンツの著作権を含む知的財産権が不正に利用されないようにしています。本製品は、保護コンテンツの再生にWM-DRMソフトウェアを使用しています。本製品のWM-DRMソフトウェアの安全性が損なわれた場合、保護コンテンツの所有者はWM-DRMソフトウェアによる本製品の保護コンテンツの複製、表示、再生を可能にする新ライセンス取得権の無効化をマイクロソフトに要求できます。無効化は、WM-DRMソフトウェアによる保護コンテンツ以外のコンテンツの再生能力に影響するものではありません。インターネットもしくはパソコンから保護コンテンツのライセンスをダウンロードする際に、無効化されたWM-DRMソフトウェアリストが製品に送付されます。Microsoftはライセンスとともに、保護コンテンツ所有者に代わり無効化リストを製品にダウンロードする場合があります。

English

Quick Manual

The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website.
Further, the detailed English manual can be downloaded from the following URL:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/trouble/manual/download/index.html

Part Names and Functions

❶**Earpiece**
For listening to the other party's voice

❷**Display**

❸**Light sensor**
For sensing brightness

❹ **Mail key**
For showing the Mail menu

❺ **Clear key**

❻ **Menu key**
For showing the Main menu

❼ **Start key/Hands-free key**

❽**Microphone**
For speaking to the other party

❾ **Command navigation key**
For operating functions and menus

❿ **i-mode key/i-αppli key**

⓫ **Camera key/1Seg key**

⓬ **Power/End key**
For turning on/off the power or ending a call

⓭**Numeric keys**
For entering phone numbers and text

⓮ **Multi key**
For showing the task menu

⓯**Connector terminal**
Integrated terminal for connecting earphone or for charging, etc.

⓰**Call/Charging indicator**
Lights while you are receiving a call or message, talking, or charging.

⓱**Private window**

⓲**Strap hole**

⓳**Infrared data port**
For using infrared communication and the infrared remote control

⓴**Back cover**
Remove this when attaching/removing the battery pack and UIM.

㉑**FOMA antenna/1Seg antenna**
The antenna is embedded in the handset. Do not cover the antenna part with your hand for better communication/reception.

㉒**Camera**
For shooting portraits and/or landscapes

㉓**Speaker**

㉔**Charging terminal**

㉕ **Side ▲ key**
For turning up the earpiece volume during a call

㉖ **Side ▼ key**
For turning down the earpiece volume during a call

㉗**One-push open button**
For opening the FOMA terminal

＊Operate from the Stand-by display. Press [end key] to return to the Stand-by display after each operation.

Basic Operation

Power ON/OFF

■Power On

Press and hold [end key] for at least one second.

■Power Off

Press and hold [end key] for at least two seconds.

Initial Settings

After turning on the power for the first time, follow the on-screen instructions to set date/time, Terminal Security Code, Keypad Sound on/off, and font size.

Turn on the power ▶ ***YES*** ▶ Select ***Auto time adjust ON*** or ***Auto time adjust OFF*** to set the date/time ▶ Enter "0000" ▶ Enter any 4 digits to set your new security code ▶ ***YES*** ▶ Select ***ON*** or ***OFF*** to set Keypad Sound ▶ Select a font size.

Switch to English Display

Press [menu key] 1 5 ▶ ***English*** (英語)

Check My Phone Number

Press [menu key] 0.

Set Ring Tones

[menu key] 1 3 ▶ Select an incoming type ▶ ***Select ring tone*** ▶ Select a type of ring tone ▶ Select a folder ▶ Select a ring tone.

Calls

Answer Calls

Press [start key].

End Calls

Press [end key].

Make Voice Calls

Enter a phone number with area code ▶ [start key]

Make Videophone Calls

Enter a phone number with area code ▶ [TV key]

Redial

[right key] ▶ Select an item ▶ [start key]

Make Calls to Received Calls

[left key] ▶ Select an item ▶ [start key]

Call Abroad from Japan

Press and hold 0 for at least one second to enter "+" ▶ Country/area code ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ [start key] ▶ ***Dial***

＊You can make international calls also by the following ways:

- 0 1 0 ▶ Country/area code ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ [start key]
- 0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶ Country/area code ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ [start key]

＊Dial the other party's phone number excluding "0" at the beginning of the area code (city code). (Except for some countries and regions.)

Phonebook

Store in Phonebook (Phone)

Press and hold [down key] for at least one second ▶ ***Phone*** ▶ Enter a name ▶ Select a necessary item and enter contents:

[R] ▶ Edit reading if necessary.
[GR] ▶ Select a group.
[phone icon] ▶ Enter a phone number ▶ Select an icon.
[mail icon] ▶ Enter a mail address ▶ Select an icon.
[address icon] ▶ Enter a zip code ▶ Enter a postal address.
[birthday icon] ▶ Enter a birthday.
[memo icon] ▶ Enter a memo.
[image icon] ▶ Select an item.

Select image: Select a still image from Data Box.
Shoot image: Activate Camera to shoot an image.

[NO] ▶ Enter a three-digit memory number. ▶ [mail key]

Retrieve from All Phonebook Entries

[down key] ▶ ***Name?***※ ▶ [center key] ▶ Use [navigation key] to select a Phonebook entry.

※From the second time, the search display you used last time appears. To select another search method, press [クリア] to show the Search Phonebook display.

その他

Character Entry

Switch Input Mode

Input mode

■**Input Mode**

From the message entry display, you can press ✉ to switch input modes:

abc: Alphabet input mode
123: Numeral input mode
漢: Kanji/Hiragana input mode
ｶﾅ: Katakana input mode

■**<Ex. 1> Enter "DOCOMO" in a text memo.**

1. メニュー ▶ ***Stationery*** ▶ ***Text memo*** ▶ ***<Not recorded>***
2. Check to see if the input mode is "abc".
3. Press 3 four times ▶ 6 three times ▶ 2 three times ▶ 6 three times ▶ ◎ ▶ 6 once ▶ ◎ ▶ 6 three times.

■**<Ex. 2> Enter "携帯" in a text memo.**

1. メニュー ▶ ***Stationery*** ▶ ***Text memo*** ▶ ***<Not recorded>***
2. Press ✉ to switch to "漢" mode ▶ 2 four times to enter "け" ▶ 1 twice to enter "い" ▶ 4 once to enter "た" ▶ 1 twice to enter "い".
3. Use ◎ to move the cursor onto the candidate list.
4. Use ◎ to highlight "携帯", and press ●.

■**Deleting Characters**

Use ◎ to move the cursor ▶ クリア

■**Line Feed**

Press ＊.

■**Switching "Uppercase" and "Lowercase"**

Enter an alphabet letter ▶ Press ＊.

■**Entering "," and "."**

Press # several times in "abc" mode.

■**Entering Pictograms**

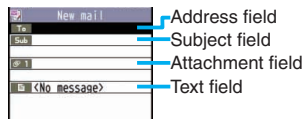
メニュー ▶ Select a pictogram.

■**Entering Symbols**

(for at least one second) ▶ Select a symbol.

■**Entering a Space**

i αppli ▶ ***Pictograms/symbols*** ▶ ***Space***

Mail

Message composition display

Send i-mode Mail

✉ ▶ ✉ ▶ Select the address field ▶ Select an entering method ▶ Enter or select an address ▶ Select the subject field ▶ Enter a subject ▶ Select the text field ▶ Enter text ▶ ※ ▶ Send a mail message by pressing ✉ from the Message Composition display ▶ After sending, press ●.

※ When you attach a file, select the attachment field ▶ Select a file type ▶ Select a folder ▶ Select a file.

Read Received Mail

✉ ▶ ***Inbox*** ▶ Select a folder ▶ Select a message you want to read.

＊"✉" appears on the Stand-by display to tell existence of new mail.

Check New Messages

✉ (for at least one second)

Reply/Forward

■**Replying**

Call up a mail message to be replied ▶ i αppli ▶ ***Reply/forward*** ▶ ***Rep. w/ i-mode mail*** or ***Reply with quote*** ▶ Select the text field ▶ Enter text ▶ From the Message Composition display, press ✉ ▶ After sending, press ●.

■**Forwarding**

Call up a mail message to be forwarded ▶ i αppli ▶ ***Reply/forward*** ▶ ***Forward*** ▶ Select the address field ▶ Select an entering method ▶ Enter or select an address ▶ From the Message Composition display, press ✉ ▶ After sending, press ●.

Camera

Shoot Still Images in Digicam Mode

📷 ▶ ●

Shoot Moving Pictures

📷 ▶ 📷 ▶ ● ▶ ● ▶ ●

Continuous Shooting

✉ ▶ ***Camera*** ▶ ***Photo mode*** ▶ 📷 ▶ ●
▶ Select a still image and press 📷 ▶ ●

* This is the procedure to select and save one still image for continuous shooting.

Play Back Shot Images/Moving Pictures

✉ ▶ ***Data box*** ▶ ***My picture*** or ***motion/Movie***
▶ ***Camera*** ▶ Select a still image or moving picture.

1Seg

Channel Setting

✉ ▶ ***1Seg*** ▶ ***Channel setting***
▶ ***Auto channel setting*** ▶ ***YES*** ▶ ***YES***
▶ Enter a title.

Select Channel List

✉ ▶ ***1Seg*** ▶ ***Channel list***
▶ Select a channel list.

Activate 1Seg

📷 (for at least one second)

Music Playback

Playback by MUSIC Player

✉ ▶ ***MUSIC*** ▶ ***MUSIC Player*** ▶ ***All tracks***
▶ Select a music file.

Playback by Music&Video Channel

✉ ▶ ***MUSIC*** ▶ ***Music&Video Channel***
▶ Select a program.

or

✉ ▶ ***Data box*** ▶ ***Music&Video Channel***
▶ ***Downloaded program*** or ***Saved program***
▶ Select a program.

Network Services

Voice Mail Service

■**Activating**

✉ ▶ ***Set./Service*** ▶ ***NW services***
▶ ***Voice mail*** ▶ ***Activate*** ▶ ***YES*** ▶ ***YES***
▶ Enter a ring time (seconds).

■**Deactivating**

✉ ▶ ***Set./Service*** ▶ ***NW services***
▶ ***Voice mail*** ▶ ***Deactivate*** ▶ ***YES***

■**Playing Back Messages**

✉ ▶ ***Set./Service*** ▶ ***NW services***
▶ ***Voice mail*** ▶ ***Play messages***
▶ ***Play (voice call)*** or ***Play (videophone)*** ▶ ***YES***
▶ Operate following the voice guidance.

Call Waiting Service

■**Activating**

✉ ▶ ***Set./Service*** ▶ ***NW services***
▶ ***Call waiting*** ▶ ***Activate*** ▶ ***YES***

■**Deactivating**

✉ ▶ ***Set./Service*** ▶ ***NW services***
▶ ***Call waiting*** ▶ ***Deactivate*** ▶ ***YES***

■**Answering an Incoming Call during a Call**

A call comes in during a call ▶ 📞
Each time you press 📞, you can switch the parties you talk with.

Call Forwarding Service

■**Activating**

✉ ▶ ***Set./Service*** ▶ ***NW services***
▶ ***Call forwarding*** ▶ ***Activate***
▶ ***Register fwd number*** ▶ Enter the phone number of the forwarding destination
▶ ***Set ring time*** ▶ Enter a ring time (seconds)
▶ ***Activate*** ▶ ***YES***

■**Deactivating**

✉ ▶ ***Set./Service*** ▶ ***NW services***
▶ ***Call forwarding*** ▶ ***Deactivate*** ▶ ***YES***

Overseas Use

Make Calls while Abroad

Make a Call to a Person in the Country You Stay at

Enter a destination phone number ▶ [call key]

Press [TV key] to make a videophone call.

■**Making a Call Using Phonebook**

Call up the detailed Phonebook display ▶ [call key] ▶ ***Dial with orig. No.***

Make a Call to Outside the Country You Stay at (Including Japan)

■**Making a Call Using the Phonebook**

Call up the detailed Phonebook display ▶ [call key] ▶ ***Dial***

Press [mail key] to make a videophone call.

■**Making a Call Using "+"**

Press and hold [0] for at least one second to enter "+" ▶ Country/area code※ ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ [call key]

※Japan's country/area code is 81.

Press [TV key] to make a videophone call.

＊Dial the other party's phone number excluding "0" at the beginning of the area code (city code). (Except for some countries and regions.)

Make a Call to a Person Staying Overseas and Using WORLD WING

When you make a call to a person who is also internationally roaming, make the call in the same way as to make international calls to Japan even if he/she is in the country you stay at.

Receive a Call

Press [call key] when a call comes in.

(For a videophone call, press [call key] as well.)

Set after Returning to Japan

After you return to Japan, the FOMA network is automatically searched and connected.

- When the FOMA network is not connected, set "Network search setting" to "Auto".

Inquiries

General Inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

[free dial] 0120-005-250 (toll free)

＊Service available in English, Portuguese, Chinese, Spanish, and Korean.
＊Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

■**From DOCOMO mobile phones** (In Japanese only)

(No prefix) 151 (toll free)

＊Unavailable from land-line phones, etc.

■**From land-line phones** (In Japanese only)

[free dial] 0120-800-000 (toll free)

＊Unavailable from part of IP phones.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

■**From DOCOMO mobile phones** (In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

＊Unavailable from land-line phones, etc.

■**From land-line phones** (In Japanese only)

[free dial] 0120-800-000 (toll free)

＊Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website or the i-mode site.
  NTT DOCOMO website　http://www.nttdocomo.co.jp/english/
  i-mode site　i Menu→お客様サポート(User support) →ドコモショップ(docomo Shop) (In Japanese only)

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center>

(available 24 hours a day)

■**From DOCOMO mobile phones**

International call access code for the country you stay at -81-3-6832-6600* (toll free)

*You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.
＊If you use P-07B, you should dial the number +81-3-6832-6600 (to enter "+", press and hold the "0" key for at least one second).

■**From land-line phones <Universal number>**

Universal number international prefix -8000120-0151*

*You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay at.
※For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to the DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas <Network Support and Operation Center>

(available 24 hours a day)

■**From DOCOMO mobile phones**

International call access code for the country you stay at -81-3-6718-1414* (toll free)

*You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.
＊If you use P-07B, you should dial the number +81-3-6718-1414 (to enter "+", press and hold the "0" key for at least one second).

■**From land-line phones <Universal number>**

Universal number international prefix -8005931-8600*

*You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay at.
※For international call access codes for major countries and universal number international prefix, refer to the DOCOMO International Services website.

- **If you lose your FOMA terminal or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the FOMA terminal.**
- **If the FOMA terminal you purchased is damaged, bring your FOMA terminal to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.**

索引

あ

か

さ

た

その他

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから	i Menu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き パケット通信料無料
パソコンから	My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
- 航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
- 運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

■劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取り組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。
よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたナビ（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

※この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの)**151**(無料)

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの)**113**(無料)

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

iモードサイト　iMenu ▶ お客様サポート ▶ ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
<ドコモ インフォメーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*(無料)**

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-07Bからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
<ネットワークオペレーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*(無料)**

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-07Bからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。
(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合

<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

Li-ion 00

'10.9(第1.1版)
3TR100305AAA
F0710-1

P-07B

パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

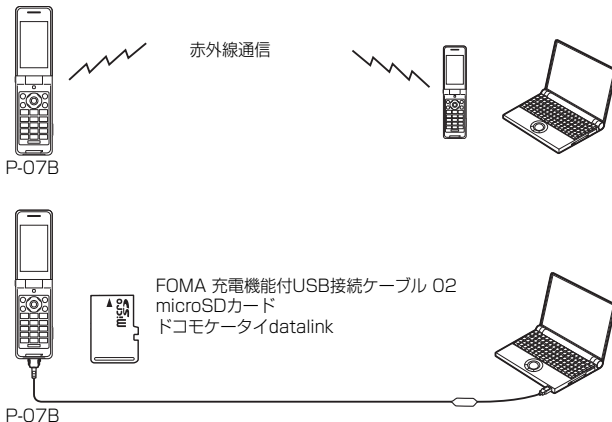
本マニュアルでは、P-07Bでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」･「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを、主にWindows 7の操作を例にして説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、データ転送(OBEX™通信)とパケット通信・64Kデータ通信に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。(PPP接続ではパケット通信できません。)
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。

データ転送(OBEX™通信)

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。(受信最大7.2Mbps、送信最大2.0Mbpsのベストエフォート方式)※ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。
P.4以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

※技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなる場合があります。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信方式です。FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続し、通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。P.4以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

次ページにつづく

お知らせ

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」に接続してデータ通信を行うことができます。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証ではFirstPass（ユーザ証明書）が必要です。ドコモのホームページからFirstPass PCソフトをダウンロードし、インストール、設定を行ってください。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でFOMA端末による通信を行うには、以下の条件が必要になります。

・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）が利用できるパソコンであること
・FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
・FOMAサービスエリア内であること
・パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
・64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)を使用する場合: USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠) ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。 ●ドコモ コネクションマネージャは1024×768ドット以上を推奨。
OS	Windows 7 32ビット版/64ビット版（日本語版） Windows Vista 32ビット版/64ビット版（日本語版） Windows XP(日本語版)
必要メモリ	Windows 7 32ビット版:1Gバイト以上 Windows 7 64ビット版:2Gバイト以上 Windows Vista:512Mバイト以上 Windows XP:128Mバイト以上(各日本語版)
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量 ●ドコモ コネクションマネージャは10Mバイト以上の空き容量

●ドコモ コネクションマネージャを利用するための動作環境はInternet Explorer 6.0以上、メールソフトは「Windowsメール」および「Outlook Express 6.0」です。
●動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。
●OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
●必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。
●メニューが動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer7.0以降※です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
　<Windows 7、Windows Vistaの場合>
　「コンピュータ」などでCD-ROMを参照して、「index.html」をダブルクリックしてください。
　<Windows XPの場合>
　マイコンピュータなどでCD-ROMを参照して、「index.html」をダブルクリックしてください。
　※Windows XPの場合、推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer6.0以降です。

■CD-ROMをパソコンにセットすると

警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)
・付属のCD-ROM「P-07B用CD-ROM」

お知らせ

●USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02」または、「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
●USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)をご利用になる場合には、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールしてください。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロード、インストールする(P.6参照)
- 付属のCD-ROMからインストール、またはドコモのホームページからダウンロードしてインストールします。

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロード、インストールする(P.6)
- 付属のCD-ROMからインストール、またはドコモのホームページからダウンロードしてインストールします。

- パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続する

インストール後の確認をする(P.7)

「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする(P.11)

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに手動で通信の設定をする(P.16、P.33)

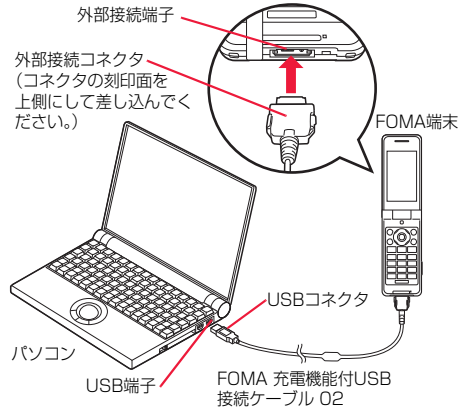
接続する(P.15、P.30)

■付属の「P-07B用CD-ROM」について

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続してパケット通信を行うときには、付属の「P-07B用CD-ROM」の「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をパソコンにインストールしてください。また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールすることをおすすめします。

パソコンとFOMA端末を接続する

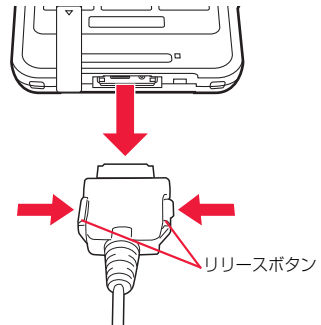
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)の取り付け方法について説明します。

1 **FOMA端末の外部接続端子の向きを確認し、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む**

2 **FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する**

お知らせ

- データ通信を行うには「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
  「(メニュー)▶設定／サービス▶その他▶USBモード設定▶通信モード」の操作を行います。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のコネクタは無理に差し込まないでください。故障の原因となります。各コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- USBケーブルは専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をご利用ください。(パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。)
- FOMA端末に表示される「 」は、パケット通信または64Kデータ通信のFOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」も表示されません。

■取り外し方

1. FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く。
2. パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を引き抜く。

お知らせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02は無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
- データ通信中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外さないでください。パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02の取り付け･取り外しは連続して行わないでください。一度、取り付け･取り外しを行った場合は、間隔をおいてから再び行ってください。

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で初めて接続するときに必要です。

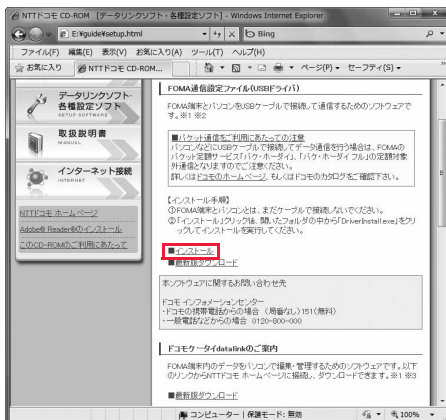
●必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

●FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする前に、パソコンに常駐しているソフトはすべて終了してください。

1 Windowsを起動し、付属の「P-07B用CD-ROM」をパソコンにセットする

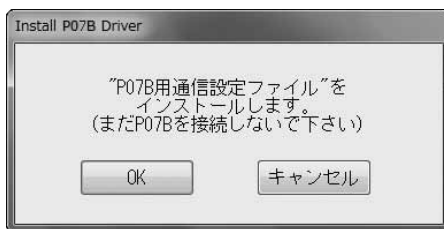
2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

●「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

3 「FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)」の「インストール」をクリックする

4 開いたフォルダの中から「DriverInstall.exe」をダブルクリックし、「はい」をクリックする

●Windows Vistaの場合、「はい」の代わりに「続行」をクリックします。

●Windows XPの場合、ユーザーアカウントの制御画面は表示されません。

次ページにつづく

5 「OK」をクリックする

6 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02で接続する(P.5参照)

インストールが始まります。

7 「OK」をクリックする

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「デバイスを使用する準備ができました。デバイス ドライバ ソフトウェアが正しくインストールされました。」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

インストールしたFOMA通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)が正しくインストールされていることを確認します。

Windows 7の場合

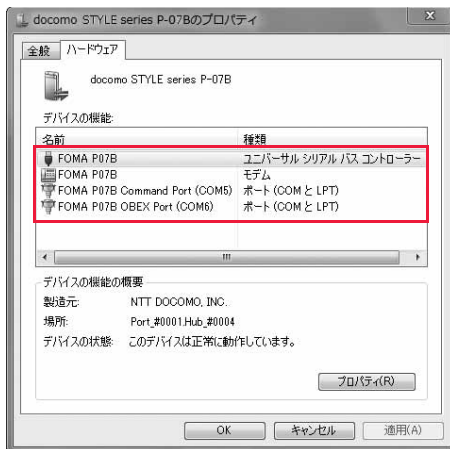
1 「(スタート)」▶「デバイスとプリンター」を開く

2 「docomo STYLE series P-07B」を開く ▶「ハードウェア」タブをクリックする

3 インストールされたドライバ名を確認する

すべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

●COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vista、Windows XPの場合

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く ▶「システムとメンテナンス」を開く

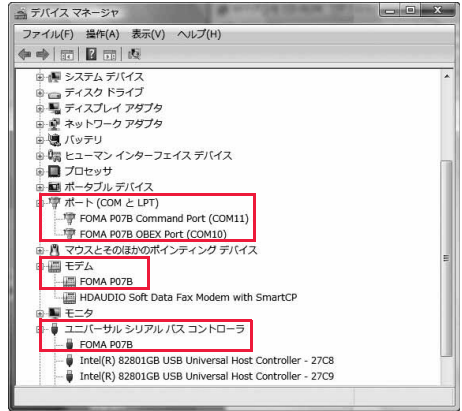
＜Windows XPの場合＞
「スタート」→「コントロールパネル」を開く→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を開く

2 「ハードウェアとデバイスを表示」を開く▶「続行」をクリックする

＜Windows XPの場合＞
「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、インストールされたFOMA通信設定ファイル(ドライバ)名を確認する

「ポート(COMとLPT)」、「モデム」、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下にすべてのFOMA通信設定ファイル(ドライバ)名が表示されていることを確認します。

- COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	FOMA通信設定ファイル(ドライバ)名
ポート(COMとLPT)	･FOMA P07B Command Port ･FOMA P07B OBEX Port
モデム	･FOMA P07B
＜Windows 7、Windows Vistaの場合＞ ユニバーサル シリアル バス コントローラ ＜Windows XPの場合＞ USB(Universal Serial Bus)コントローラ	･FOMA P07B

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のアンインストールが必要になった場合(バージョンアップする場合など)は、次の手順で行ってください。

●必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

1 **FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外す**

2 **「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「プログラムのアンインストール」を開く**

<Windows Vistaの場合>
「(スタート)」→「コントロールパネル」を開く→「プログラムと機能」を開く
<Windows XPの場合>
「スタート」→「コントロールパネル」を開く→「プログラムの追加と削除」を開く

3 **「FOMA P07B USB」を選択し「アンインストールと変更」をクリックする**

<Windows Vistaの場合>
手順3のあとにユーザーアカウントの制御画面が表示された場合は、「続行」をクリックする
<Windows XPの場合>
「FOMA P07B USB」を選択して、「変更と削除」をクリックする

4 **「OK」をクリックする**

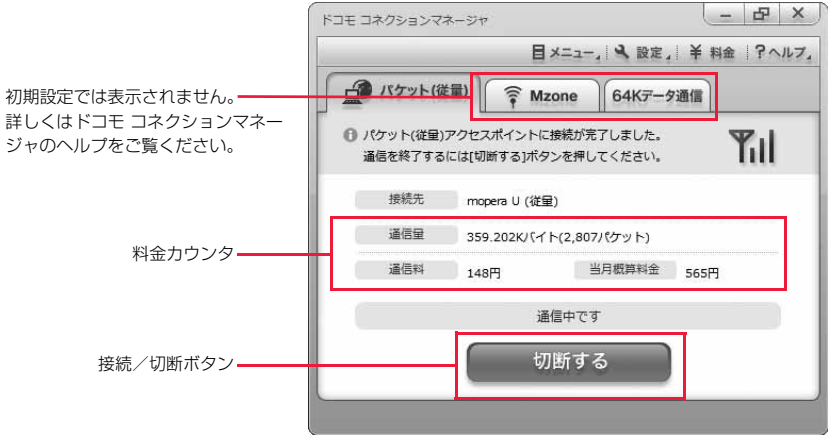
5 **「はい」をクリックしてWindowsを再起動する**

以上でアンインストールは終了です。
●「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

お知らせ

●「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールするときに、途中でパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)が正常にインストールされない場合があります。このような場合は、「P-07B用CD-ROM」内の「P07B_un.exe」※を実行して「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)を一度削除してから、再度インストールし直してください。
※以下のフォルダ内の「P07B_un.exe」を実行してください。
Windows 7 32ビット版:「P07B_USB_Driver」→「Win7_32」
Windows 7 64ビット版:「P07B_USB_Driver」→「Win7_64」
Windows Vista 32ビット版:「P07B_USB_Driver」→「WinVista32」
Windows Vista 64ビット版:「P07B_USB_Driver」→「WinVista64」
Windows XP:「P07B_USB_Driver」→「Win_XP」

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uのお申込やお客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行なうことができます。また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

本書では、「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法までをご案内いたします。
端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ(mopera Uなど)のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

■従量制データ通信(ｉモードパケット定額サービスなど含む)のご利用について

パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロード(例:アプリケーションや音楽･動画データ、OS･ウイルス対策ソフトのアップデート)などのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となる場合がありますのでご注意ください。なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービス「パケ･ホーダイ」、「パケ･ホーダイフル」の定額対象外通信となりますのでご注意ください。

■定額データプランのご利用について

定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プラン･インターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

■moperaのご利用について

接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

インストールの流れ

ステップ1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)を用意する**

ステップ2 **サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する**

ステップ3 **「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトがインストールされている場合は、自動的に起動しないように設定を変更する**

●「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトのご利用についてはP.11参照。

■Internet Explorerの設定について

本ソフトをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」を選択する。
2. 「接続」タブを選択し、「ダイヤルしない」を選択する。
3. 「OK」をクリックする。

お知らせ

<「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトの利用について>

●本ソフトには、以下のソフトと同等の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。
必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。
※同時利用いただく必要のないソフト
・mopera Uかんたんスタート
・Uかんたん接続設定ソフト
・FOMA PC設定ソフト
・FOMAバイトカウンタ
また、本ソフトでMzone(ドコモ公衆無線LANサービス)を利用する場合、以下の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールをおこなってください。
※以下のソフトを同時にインストールした場合、本ソフトでのMzone接続はご利用いただけません。
・U公衆無線LANユーティリティソフト
・ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
・ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
「ドコモ コネクションマネージャ」を使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、通信設定最適化や接続先(APN)の設定ができます。

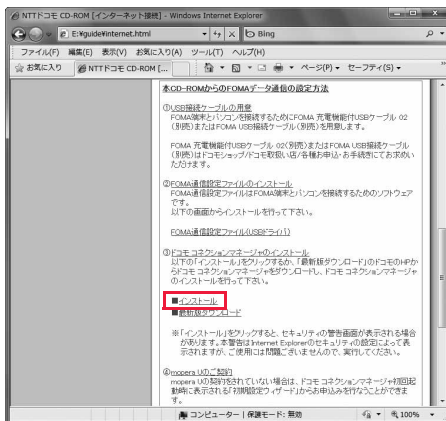
- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。
- 起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
  ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
  (例)タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」を選択します。

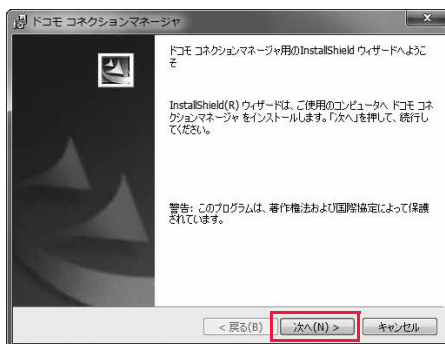
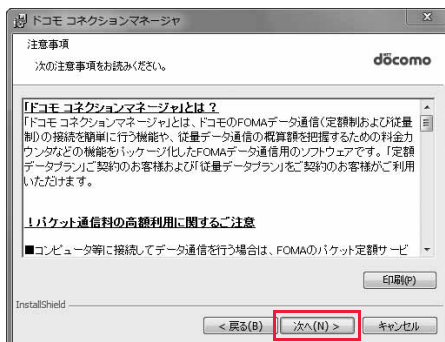
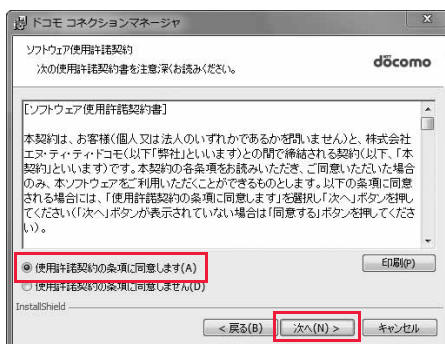
1 付属の「P-07B用CD-ROM」をパソコンにセットする

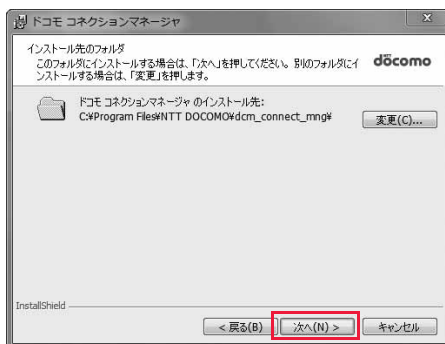
2 「インターネット接続」をクリックする

- 「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

3 「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の操作③にある「インストール」をクリック ▶「実行」をクリック ▶「はい」をクリックする

- Windows Vistaの場合、「はい」の代わりに「続行」をクリックします。
- Windows XPの場合、ユーザーアカウントの制御画面は表示されません。

Windows XPで、MSXML6･Wireless LAN APIが環境にない場合は、「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする前に、それらをインストールする必要があります。確認の画面が表示されたときは「Install」をクリックして、MSXML6･Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6･Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的に「ドコモ コネクションマネージャ」のインストールがはじまります。

4 「次へ」をクリックする

5 注意事項をご確認のうえ、「次へ」をクリックする

6 使用許諾契約書の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする

7 インストール先のフォルダを確認して、「次へ」をクリックする

次ページにつづく

8 「インストール」をクリックする

インストールがはじまります。

ドコモ コネクションマネージャ

プログラムをインストールする準備ができました

ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。

docomo

「インストール」を押して、インストールを開始してください。

インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」を押してください。「キャンセル」を押すと、ウィザードを終了します。

InstallShield

< 戻る(B)　インストール(I)　キャンセル

9 「完了」をクリックする

これでインストールは完了です。

ドコモ コネクションマネージャを起動する

1 **「(スタート)」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」**

「ドコモ コネクションマネージャ」が起動します。

2 **初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。**

以降はソフトの案内に従って操作･設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。
詳しくは、「ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル.pdf」をご覧ください。

■切断する場合

ブラウザソフトやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。
通信をご利用にならない場合は、必ず「ドコモ コネクションマネージャ」の「切断する」をクリックして通信を切断してください。
OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.19参照）は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定（P.22参照）は必要に応じて行います。（「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）

- Windows 7、Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7、Windows Vistaの場合は、Windows 7対応またはWindows Vista対応のソフトを使って設定してください。（ご使用になるソフトの設定に従ってください。）

＜ATコマンドによるパケット通信設定の流れ＞

COMポート番号を確認する（P.17参照）

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する（P.19手順3参照）

接続先（APN）の設定をする（P.20手順7参照）

発信者番号の通知／非通知を設定する（P.22手順2参照）

その他の設定をする（P.34参照）

通信ソフトを終了する（P.21手順9参照）

■ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）ができます。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA P07B」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先（APN）の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

Windows 7の場合

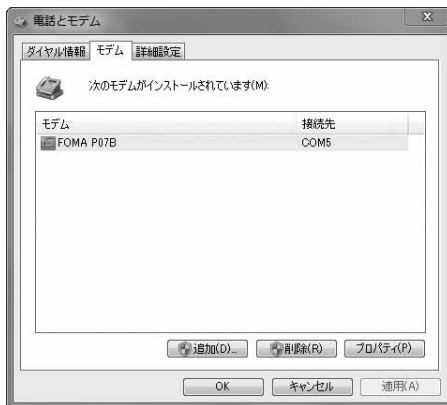
1 「（スタート）」▶「コントロールパネル」を開く

- 「表示方法」が「カテゴリ」の場合は、「大きいアイコン」または「小さいアイコン」に変更します。

2 「電話とモデム」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P07B」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.19参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vistaの場合

1 「（スタート）」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「ハードウェアとサウンド」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

次ページにつづく

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P07B」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.19参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P07B」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.19参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先(APN)の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。接続先(APN)は10個まで登録でき、1～10の「cid」(P.21参照)という番号で管理されます。
「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先(APN)の設定は不要です。
ここでは接続先(APN)が「XXX.abc」で、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定(P.25参照)での接続先番号となります。

Windows XPの例

1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を接続する**

2 **FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02をパソコンに接続する**

3 **ハイパーターミナルを起動する**

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。
ハイパーターミナル起動後に、「『既定のTelnet』プログラムにしますか？」と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカおよびマイクロソフトにご確認ください。

4 **「名前」の欄に任意の名前を入力して、「OK」をクリックする**

ここでは例として「Sample」と入力します。

次ページにつづく

5 接続方法を選択する

<「FOMA P07B」のCOMポート番号を選択できる場合>

「接続方法」で「FOMA P07B」がインストールされたCOMポート番号を選択して「OK」をクリックします。このあと手順6へ進んでください。

●ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA P07B」のCOMポート番号についてはP.17参照。

<「FOMA P07B」のCOMポート番号を選択できない場合>

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。

(1)「ファイル」メニュー→「プロパティ」を選択します。
(2)「Sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」の欄で「FOMA P07B」を選択します。
(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外します。
(4)「OK」をクリックします。

このあと手順7へ進んでください。

6 COMポート番号のプロパティが表示されるので、「OK」をクリックする

●手順5でCOMポート番号を選択した場合に表示されます。

7 接続先(APN)を設定する

AT+CGDCONT=cid,"PDP_type","APN"の形式で入力します。
cid:5～10までのうち任意の番号を入力します。
※すでにcidが設定してある場合は、設定が上書きされますので注意してください。
"PDP_type"については"PPP"または"IP"と入力します。
"APN":APNを" "で囲んで入力します。
(例:cidの5番にXXX.abcというAPNを設定する場合)
AT+CGDCONT=5,"PPP","XXX.abc"
入力後↵を押して、OKと表示されればAPNの設定は完了です。

●現在のAPN設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT?↵」と入力します。APN設定が一覧で表示されます。

次ページにつづく

8 「OK」と表示されることを確認する

```
Sample - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
AT+CGDCONT=5,"PPP","XXX.abc"
OK
_
```

9 「ファイル」メニュー▶「ハイパーターミナルの終了」を選択して、ハイパーターミナルを終了する

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」を選択してください。
- 「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先（APN）を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先（APN）を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先（APN）をFOMA端末に登録してください。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

■cid（登録番号）について

FOMA端末にはcid1からcid10までの登録番号があり、お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid2とcid3には「mopera.net」が、cid4には「mpr.ex-pkt.net」が接続先（APN）として登録されています。「mopera U」、「mopera」以外に接続する場合は、cid5～10のいずれかにプロバイダまたはネットワーク管理者より指示される接続先（APN）を設定する必要があります。

お買い上げ時のcid登録

登録番号（cid）	接続先（APN）
1	mopera.ne.jp (PPP)
2	mopera.net (PPP)
3	mopera.net (IP)
4	mpr.ex-pkt.net (PPP)
5～10	未設定

■cidに登録した接続先（APN）に接続するときの「電話番号」について

「＊99＊＊＊＜cid番号＞＃」

（例）cid5に登録した接続先（APN）に接続する場合

　＊99＊＊＊5＃

■接続先（APN）設定のリセット／確認について

接続先（APN）設定のリセット／確認もATコマンドを使って行います。

接続先（APN）設定のリセット

リセットを行った場合、cid1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid2とcid3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に、cid4の接続先（APN）設定が「mpr.ex-pkt.net」（初期値）に戻り、cid5～10の設定は未登録となります。

（入力方法）

AT＋CGDCONT= ↵（すべてのcidをリセットする場合）

AT＋CGDCONT=〈cid〉 ↵（特定のcidのみリセットする場合）

接続先（APN）設定の確認

現在の設定内容を表示させます。

（入力方法）

AT＋CGDCONT? ↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定(接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定)を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンド(＊DGPIRコマンド)で設定できます。

1 「ハイパーターミナル」などの通信ソフトを起動する

- 「ハイパーターミナル」での操作方法についてはP.19参照。

2 ＊DGPIRコマンド(P.36参照)で発信者番号の通知／非通知を設定する

- 発信／着信応答のときに自動的に184(非通知)を付ける場合は、「AT＊DGPIR=1 ↵」と入力します。
- 発信／着信応答のときに自動的に186(通知)を付ける場合は、「AT＊DGPIR=2 ↵」と入力します。

3 「OK」と表示されることを確認する

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定(P.25参照)でも、接続先の番号に186(通知)／184(非通知)を付けることができます。

＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186(通知)／184(非通知)の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定(cid=3の場合)	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊3#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊3#	設定なし	非通知 (ダイヤルアップネットワークの184が優先される)
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊3#	設定なし	通知 (ダイヤルアップネットワークの186が優先される)
	非通知	
	通知	

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。

Windows 7でダイヤルアップネットワークの設定をする

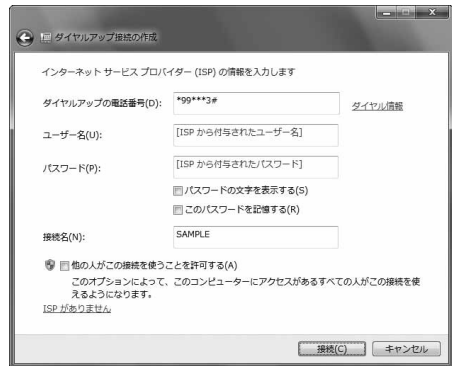
1 **「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「インターネットへの接続」▶「ダイヤルアップ」をクリックする**

- すでに接続先が設定済みの場合は、既存の接続を使用するかどうかの確認画面が表示されます。この場合、「いいえ、新しい接続を作成します」にチェックを付け、「次へ」をクリックします。

2 **モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA P07B」をクリックする**

- モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

3 **「接続名」の欄に任意の名前を入力する**

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

4 **「ダイヤルアップの電話番号」の欄に接続先番号を入力する**

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

5 **「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「接続」をクリックする▶「スキップ」をクリックする**

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。
- ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみを行います。

6 **「閉じる」をクリックする**

7 **「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「ネットワークの状態とタスクの表示」▶「アダプターの設定の変更」をクリックする**

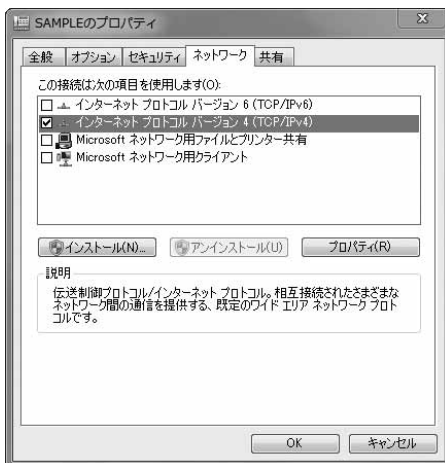
次ページにつづく

8 設定済みの接続先を選んで、右クリックから「プロパティ」を選択する▶「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P07B」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P07B」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P07B」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P07B」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

9 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」を選択します。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

10 「オプション」タブをクリックして、「PPP設定」をクリックする

11 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

12 手順9の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークの設定をする

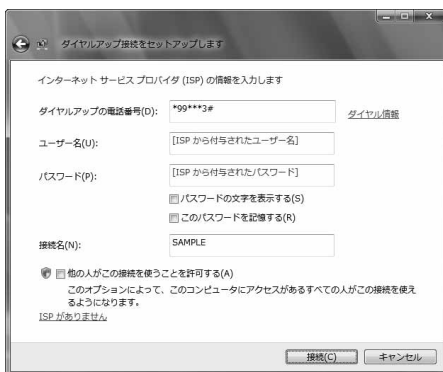
1 「(スタート)」▶「接続先」▶「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

2 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して、「次へ」をクリックする

3 モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA P07B」をクリックする

●モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

4 「接続名」の欄に任意の名前を入力する

●ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

5 「ダイヤルアップの電話番号」の欄に接続先番号を入力する

●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

6 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「接続」をクリックする▶「スキップ」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。
●ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみを行います。

7 「接続をセットアップします」をクリックする▶「閉じる」をクリックする

8 「(スタート)」▶「接続先」▶接続済みの接続先を選んで、右クリックから「プロパティ」を選択する

次ページにつづく

9 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P07B」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P07B」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P07B」以外のモデムのチェックを外してください。

「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P07B」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

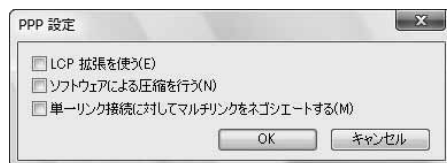
10 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」を選択します。

「QoSパケットスケジューラ」は必要に応じて設定してください。

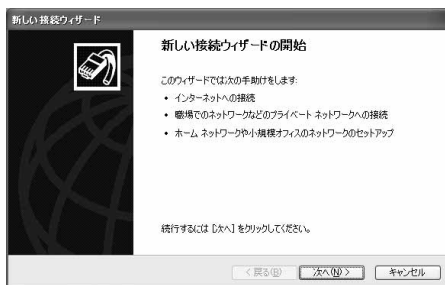
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

11 「オプション」タブをクリックして、「PPP設定」をクリックする

12 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

13 手順10の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

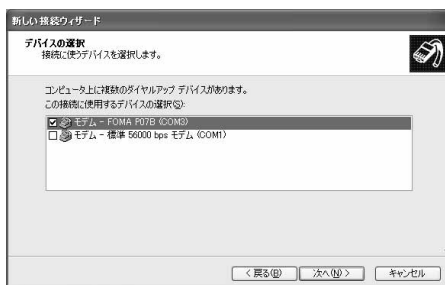
1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を開く

2 「新しい接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

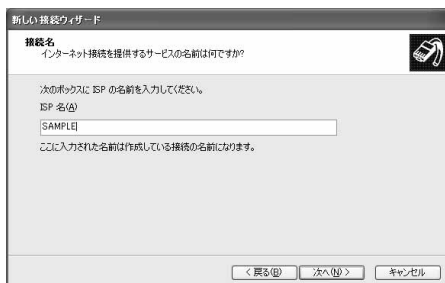
4 「接続を手動でセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P07B」のみチェックを付けて「次へ」をクリックする

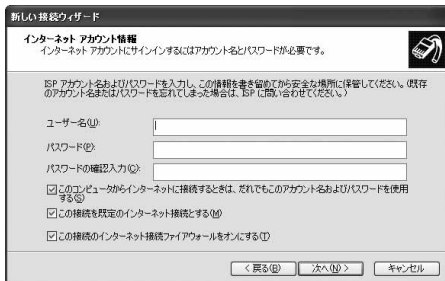
- 「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 「ISP 名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

次ページにつづく

8 「電話番号」の欄に接続先番号を入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

10 「完了」をクリックする

11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

12 ダイヤルアップのアイコンを選択して、「ネットワークタスク」▶「この接続の設定を変更する」を選択する

ここでは手順7で入力した名前のアイコンをクリックします。

次ページにつづく

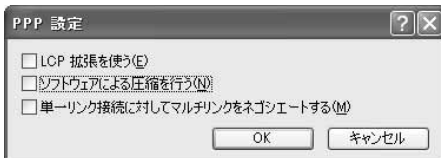
13「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム−FOMA P07B」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム−FOMA P07B」の優先順位を一番上にするか、「モデム−FOMA P07B」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- ●「FOMA P07B」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- ●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.21参照。

14「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。
続いて「設定」をクリックします。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

15 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

16 手順14の画面に戻り、「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

Windows 7でダイヤルアップ接続する

P.5の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く ▶「インターネットへの接続」をクリックする

2 「はい、既存の接続を選びます」にチェックを付け、接続先を選択し「次へ」をクリックする

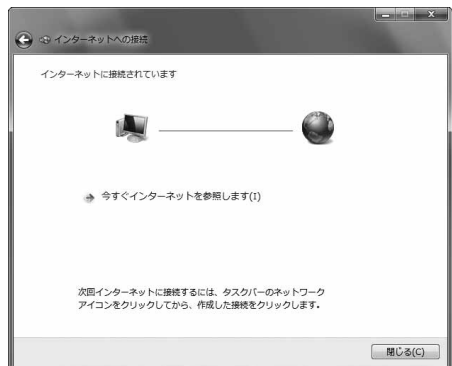
3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示される

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了後、「閉じる」をクリックする

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

Windows Vistaでダイヤルアップ接続する

P.5の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

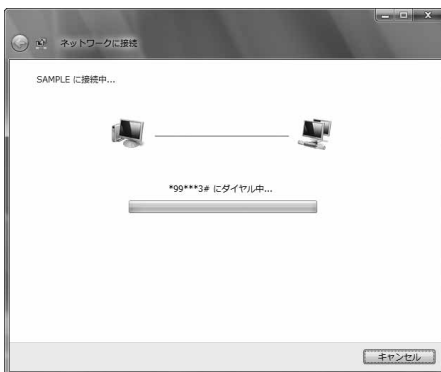
1 「(スタート)」▶「接続先」を開く

2 接続先を選択して「接続」をクリックする

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示される

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了後、「閉じる」をクリックする

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

Windows XPでダイヤルアップ接続する

P.5の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定したISP名(P.27参照)のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示されます

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了です

接続が完了すると、タスクバーのインジケータから、メッセージが数秒間表示されます。

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

●メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

お知らせ

●ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが必要になることがあります。

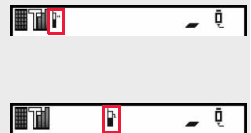
●通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。

●パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「 」(通信中、データ送信中)　「 」(通信中、データ受信中)

「 」(通信中、データ送受信なし)　「 」(発信中、または切断中)

「 」(着信中、または切断中)

●64Kデータ通信中は、FOMA端末に「 」が表示されます。

通信を切断する

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 接続済みの接続先を選択し、「切断」をクリックする

<Windows Vistaの場合>

「接続または切断」を選択し「切断」をクリックして、「閉じる」をクリックする

<Windows XPの場合>

「切断」をクリックする

お知らせ

●ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。

●パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「P-07B」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.3参照）を満たしているかを確認してください。 ・「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）がしっかりと接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定（P.16参照）と同じです。

以下の点に注意して操作してください。

●64Kデータ通信では接続先（APN）の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。（mopera Uに接続する場合は「＊8701」、moperaに接続する場合は「＊9601」と電話番号欄に入力してください。）

●「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
（mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。）

●設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.15、P.30、P.32の手順に従って操作してください。

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

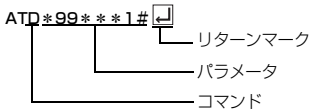
※ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[AT]: FOMA P07B Command Portで使用できるコマンドです。
[M]: FOMA P07B(モデム)で使用できるコマンドです。
[&F]: AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[&W]: AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。
ATZコマンドで設定値を呼び戻せます。

お知らせ

- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1のAモード、デュアルモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーで発信します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

- 入力例

- ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。

・「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
・「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

- オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO↵」と入力します。

※USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

■設定の保存について

AT+CGDCONTコマンドによる接続先(APN)設定、AT+CGEQMIN/AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL/AT＊DGARL/AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知・非通知の設定、およびAT+CLIRコマンドによる発番号通知制限の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF・ONまたは外部機器の取り外し時に初期化されてしまいますのでご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に「AT&W↵」と入力することにより設定を保存できます。このとき、[&W]が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF・ON後であっても、「ATZ↵」と入力することにより、設定値を復元できます。

ATコマンド一覧

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&Cn [M] [&F][&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0： CDは常にON n=1： CDは相手モデムのキャリアに応じて変化します。（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [M] [&F][&W]	DTEから受け取る回路ER信号がオン／オフ遷移したときの動作を選択します。	n=0： ERの状態を無視します。（常にONとみなします。） n=1： ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になります。 n=2： ERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になります。（初期値）	AT&D1 OK
AT&En [M] [&F][&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	n=0： 無線区間通信速度を表示します。 n=1： DTEシリアル通信速度を表示します。（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn [AT][M]	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	－
AT&Sn [M] [&F][&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	n=0： DRは常にON（初期値） n=1： DRは回線接続時（通信呼確立時）にONとなります。	AT&S0 OK
AT&Wn [M]	現在の設定値を記憶します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	－
AT＊DANTE [AT][M]	アンテナの本数を表示します。（0～3）	0： FOMA端末のアンテナが圏外 1： FOMA端末のアンテナが0本または1本 2： FOMA端末のアンテナが2本 3： FOMA端末のアンテナが3本	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=n [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。 本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	n=0： 着信拒否設定および着信許可設定を無効にします。（初期値） n=1： 着信拒否設定（AT＊DGARL）を有効にします。 n=2： 着信許可設定（AT＊DGAPL）を有効にします。 AT＊DGANSM?：現在の設定を表示します。	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。 APNの設定は、AT+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0： <cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。 n=1： <cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGAPL?：着信許可リストを表示します。	AT＊DGAPL=0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL=1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。 APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0： <cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。 n=1： <cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidが省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGARL?：着信拒否リストを表示します。	AT＊DGARL=0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL=1 OK AT＊DGARL? OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=n [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。（P.22参照）	n=0： APNをそのまま使用します。（初期値） n=1： APNに"184"を付加して使用します。（常に非通知） n=2： APNに"186"を付加して使用します。（常に通知） AT＊DGPIR?：現在の設定を表示します。	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW [AT][M]	受信電力指標を表示します。（0：最小値〜75：最大値）	−	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK
+++ [M]	オンライン状態のとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	−	−
AT+CAOC [M]	現在もしくは直前呼の課金情報を表示します。	リザルト：+CAOC:"n" n：課金情報を16進数で表示します。	AT+CAOC +CAOC:"00001E" OK
AT+CBC [M]	バッテリー状態を表示します。	リザルト：+CBC:n,m n=0　：FOMA端末が充電池により動作している状態。 n=1　：充電中状態。 n=2　：充電池が取り外されている状態。 n=3　：電源供給に問題がある状態。 m=0〜100：電池残量	AT+CBC +CBC:0,80 OK
AT+CBST=n,1,0 [M] [&W][&F]	利用するベアラサービスの設定を行います。	n=116：64000 bps (bit transparent)（初期値） n=134：64000 bps (multimedia)	AT+CBST=116,1,0 OK AT+CBST? +CBST:116,1,0 OK
AT+CDIP=n [M][AT] [&F][&W]	着信時に着サブアドレスをパソコンに表示するかどうかの設定をします。	n=0 ：着信時に着サブアドレスを表示しません。（初期値） n=1 ：着信時に着サブアドレスを表示します。 リザルト：+CDIP：<n>,<m> m=0：マルチナンバー未契約 m=1：マルチナンバー契約中 m=2：不明	AT+CDIP=0 OK AT+CDIP? +CDIP:0,1 OK
AT+CEER [AT][M]	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.43参照）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.41参照。	P.41参照。
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ P.42参照。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。	P.42参照。
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］ P.42参照。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。	P.42参照。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+CGMR 123451234512345 6 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=n [M] [&F][&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。応答される通知により圏内／圏外を表示します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CGREG? +CGREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG：1
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	−	AT+CGSN 123456789012345 OK
AT+CLIP=n [AT][M] [&F][&W]	64Kデータ通信／テレビ電話着信時に相手の発信番号をパソコンに表示できます。	n=0：　通知しません。（初期値） n=1：　通知します。 リザルト：+CLIP：<n>,<m> m=0：発信時の相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時の相手に番号を通知するNW設定 m=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=n [M]	64Kデータ通信／テレビ電話通信を発信するとき、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	n=0：　CLIRサービスの契約に従い、発番通知されます（されません）。 n=1：　通話相手に番号発信しません。 n=2：　通話相手に番号発信します。（初期値） リザルト：+CLIR：<n>,<m> m=0：CLIRは起動していません。（常時通知） m=1：CLIRは起動しています。（常時非通知） m=2：不明 m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=n [M] [&F][&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0：　通常のERRORリザルトを用います。（初期値） n=1：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用います。 n=2：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用います。 AT+CMEE?：現在の設定を表示します。 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：　no connection to phone 10：　SIM not inserted 15：　SIM wrong 16：　incorrect password 100：　unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR：SIM not inserted
AT+CNUM [AT][M]	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	number：電話番号（2in1のモードがBモードの場合は、Bナンバーを表示します。） type　：129もしくは145 129: 国際アクセスコード+を含まない 145: 国際アクセスコード+を含む リザルト：+CNUM:,<number>,<type>	AT+CNUM +CNUM:,"+819012345678",145 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+COPS=n,2,m [M]	接続する通信事業者を選択します。	n=0 ：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を選択します。）（初期値） n=1 ：マニュアル（mに設定された通信事業者に接続します。） n=2 ：通信事業者との接続を解除（切断）します。 n=3 ：マッピングは行いません。 n=4 ：マニュアルオート（mに指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行います。） m ：国番号（MCC）と通信事業者番号（MNC）を16進数の値で表します。書式は以下の通りです。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8. Digit 1 of MNC･･･octet 3 bits 1 to 4.	AT+COPS=1,2,"44F001" OK
AT+CPAS [M]	FOMA端末へ制御信号を送出できるかを表示します。	リザルト：+CPAS：n n=0 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能である。 n=1 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が不可能である。 n=2 ：不明(制御信号の送受信は保証されない) n=3 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ着信中である。 n=4 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ通信中である。	AT+CPAS +CPAS:0 OK
AT+CPIN=n,m [M][AT]	UIMに関するパスワード(PIN1/PIN2)の入力を行います。	UIMがPIN1/PIN2入力待ち状態の時 n ：PIN1/PIN2 UIMがPIN1/PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち状態の時 n ：PINロック解除コード m：新しいPIN1/PIN2 AT+CPIN? ：現在のSIMに関して要求されているコード入力の状態を表示します。 リザルト：+CPIN：<state> <state>=READY ：コード入力要求なし <state>=SIM PIN ：PIN1コード入力待ち <state>=SIM PIN2 ：PIN2コード入力待ち <state>=SIM PUK ：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち <state>=SIM PUK2 ：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち	AT+CPIN="1234" OK AT+CPIN="12345678","1234" OK AT+CPIN? +CPIN:SIM PIN OK
AT+CR=n [M] [&F][&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n=0： 表示しません。（初期値） n=1： 表示します。 <serv>： パケット通信を意味する"GPRS"のみ表示します。（回線種別により"SYNC"、"AV64K"を表示します。） AT+CR?：現在の設定値を表示します。	AT+CR=1 OK ATD*99***1# +CR：GPRS CONNECT
AT+CRC=n [AT][M] [&F][&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0： +CRINGを使用しません。（初期値） n=1： +CRING.<type>を使用します。 AT+CRC?で現在の設定を表示します。 +CRINGの書式は次のとおりです。 +CRING：<type> PPPパケット呼着信時 +CRING：GPRS "PPP",,,<APN>	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC：0 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CREG=n [AT][M] [&F][&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CREG? +CREG：<n>,<stat> n：　　設定値 stat： 0：　　音声圏外 1：　　音声圏内 4：　　不明 5：　　音声圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK (圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+CUSD=n,"<str>",0 [M] [&F][&W]	ネットワークに対して、付加サービスの設定や問い合わせを行います。	n=0 ：中間リザルトを表示しません。（初期値） n=1 ：中間リザルトを表示します。 <str>：サービスコード 中間リザルト：m,"<str>",0 m=0：設定完了を示します。 m=1：ネットワークから更に情報が要求されていることを示します。	AT+CUSD=0, OK AT+CUSD=1,"*148*1*0000#",0 +CUSD:0,"148*7#",0 OK
AT+FCLASS=n [M] [&F][&W]	FOMA端末に通信種別を設定します。	n=0：データ通信（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP [M]	FOMA端末がサポートするATコマンドのリストを表示します。	リザルト +GCAP：n n=+CGSM　：GSMコマンドの一部または全部をサポートします。 n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポートします。 n=+W　　　：+Wコマンドをサポートします。	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI [M]	メーカ名（Panasonic）を表示します。	－	AT+GMI Panasonic OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名（FOMA P-07B）を表示します。	－	AT+GMM FOMA P07B OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [M] [&F][&W]	フロー制御方式の選択を行います。	n：　DCE by DTE m：　DTE by DCE 0：　フロー制御なし 1：　XON／XOFFフロー制御 2：　RS／CS(RTS/CTS)フロー制御 初期値はn,m=2.2 AT+IFC?で設定値を問い合わせます。	AT+IFC=2,2 OK
AT+WS46=n [M]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	FOMA端末では本コマンドによる無線通信網の選択は行わないため、モード設定に対してはERRORを応答します。 n=12：GSM/GPRS n=22：W-CDMA（Wideband CDMA） n=25：自動選択	AT+WS46=22 ERROR AT+WS46? 25 OK
ATA [AT][M]	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	－	RING ATA CONNECT
ATD [AT][M]	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	<cid>：1～10。+CGDCONTで設定したAPNを表します。cid1に発信する場合、「ATD＊99＊＊＊#」と省略できます。	ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATEn [AT][M] [&F][&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：　エコーバックなし n=1：　エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn [AT][M]	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	n=0：　回線を切断します。（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATIn [AT][M]	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示します。 n=1：製品名を表示します。（+GMMと同じ） n=2：FOMA端末のバージョンを表示します。（+GMRと同じ） n=3：ACMP情報要素を表示します。 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を表示します。	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA P07B OK
ATOn [M]	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [M] [&F][&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：リザルトコードを表示します。（初期値） n=1：リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません。）
ATS0=n [M] [&F][&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0：自動着信しません。（初期値） n=1～255：指定したリング回数で自動着信します。 （n≧10のとき、パケット（PPP）着信の場合は、自動着信せず約30秒で切断されます。） ATS0?で設定値を問い合わせます。	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=n [M] [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=43：初期値 n=127：エスケープ処理は無効。 ATS2?で設定値を問い合わせます。	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=n [M] [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n=13：初期値（n=13のみ指定可） ATS3?で設定値を問い合わせます。	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [M] [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n=10：初期値（n=10のみ指定可） ATS4?で設定値を問い合わせます。	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=n [M] [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n=8：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?で設定値を問い合わせます。	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS30=n [M][&F]	不活動タイマ（分）を設定します。ユーザーデータの送受信がないと、設定した時間以上で切断します。本コマンドの設定は、64Kデータ通信に限ります。設定が0の場合、不活動タイマOFFとなります。	n=0～255（初期値は0）（単位：分）	ATS30=0 OK
ATS103=n [M][&F]	着サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＊（アスタリスク） n=1：／（スラッシュ）（初期値） n=2：¥またはバックスラッシュ	ATS103=0 OK
ATS104=n [M][&F]	発サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＃（シャープ） n=1：％（パーセント）（初期値） n=2：＆（アンド）	ATS104=0 OK
ATVn [M] [&F][&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=0：リザルトコードを数値で返送します。 n=1：リザルトコードを文字で返送します。（初期値）	ATV1 OK
ATXn [M] [&F][&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし。 n=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり。 n=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり。（初期値）	ATX1 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATZn [M]	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	（オンライン時） ATZ NO CARRIER （オフライン時） ATZ OK
AT¥Sn [M]	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=000 S104=000 OK
AT¥Vn [M] [&F][&W]	接続時の応答コード仕様の選択を行います。	n=0： 拡張リザルトコードを使用しません。（初期値） n=1： 拡張リザルトコードを使用します。	AT¥V0 OK

※以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・AT（ATのみの入力）
・ATP（パルス設定）
・ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
・ATT（トーン設定）
・ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
・ATS10（自動切断遅延時間設定）

ATコマンドの補足説明

●コマンド名：　+CGDCONT=[パラメータ]　[M]
・概要
パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
・書式
+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]
・パラメータ説明
パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※　：1～10
<PDP_type>：PPPまたはIP
<APN>※　：任意
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jp(PPP)が、<cid>=2にはmopera.net(PPP)が、<cid>=3にはmopera.net(IP)が、<cid>=4にはmpr.ex-pkt.net(PPP)が初期値として登録されていますので、cidは5～10に設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。
・パラメータを省略した場合の動作
+CGDCONT=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します
+CGDCONT=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?　：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?　：現在の設定を表示します。
・コマンド実行例
AT+CGDCONT=5,"PPP","abc"
OK
※abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが5の場合）
※本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

次ページにつづく

●コマンド名：　　+CGEQMIN=[パラメータ]　　[M]

・概要

パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※　：1〜10
<Maximum bitrate UL>※　：なし（初期値)、2048
<Maximum bitrate DL>※　：なし（初期値)、7232

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最大通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、2048および7232を設定した場合はこれらの値未満での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の4パターンのみ設定できます。((1)の設定が各cidに初期値として設定されています。)

(1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド
（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2)上り2048kbps/下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド
（cidが3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,2048,7232
OK

(3)上り2048kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,2048
OK

(4)上りすべての速度/下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,7232
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　　+CGEQREQ=[パラメータ]　　[M]

・概要

パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。

・書式

+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明

<cid>※：1〜10
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQREQ=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の1パターンのみ設定できます。
（各cidに初期値として設定されています。）

(1)NWが設定する任意の速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　　+CLIP

・概要

"AT+CLIP=1"の場合のリザルトが下記の書式で表示されます。
+CLIP：<number><type>

・コマンド実行例

AT+CLIP=1
OK
RING
+CLIP："09012345678",49

切断理由一覧

■64Kデータ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

■パケット通信

値	理由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

リザルトコード

■リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
2	RING	着信が来ています
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません
7	BUSY	話中音の検出中です
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

■拡張リザルトコード

&E0のとき
FOMA端末－基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32000bps
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

次ページにつづく

&E1のとき

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

お知らせ

- ATVnコマンド(P.40参照)がn=1に設定されている場合には文字表示形式(初期値)、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」(数字表示:100)が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
3	AV64K	テレビ電話64Kで接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■リザルトコード表示例

- ATX0が設定されている場合

AT¥Vコマンド（P.41参照）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例： ATD*99***1#
CONNECT

数字表示例： ATD*99***1#
1

- ATX1が設定されている場合※1

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）

接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例： ATD*99***1#
CONNECT 460800

数字表示例： ATD*99***1#
1 21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1

接続完了のときに、以下の書式で表示します。

CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>PACKET<接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>※2

文字表示例： ATD*99***1#
CONNECT 460800 PACKET
mopera.ne.jp /5440/7232

数字表示例： ATD*99***1#
1215

※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。
AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2 無線基地局から通知された最高速度を表示するものであり、実際の速度を保証するものではありません。

P-07B

区点コード一覧

＜区点コード一覧表の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

●区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	【		あ		】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【		い		】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【		う		】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【		え		】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【		お		】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【		か		】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【		き		】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【		く		】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【		け		】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【		こ		】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【		さ		】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【		し		】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【		す		】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【		せ		】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【		そ		】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【		た		】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【		ち		】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【		つ		】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【		て		】					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【		と		】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【		な		】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【		に		】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【		ぬ		】					
390									濡	
	【		ね		】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【		の		】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【		は		】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【		ひ		】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【		ふ		】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【		へ		】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【		ほ		】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【		ま		】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【		み		】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【		む		】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【		め		】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【		も		】					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【		や		】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【		ゆ		】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【		よ		】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【		ら		】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【		り		】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【		る		】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【		れ		】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【		ろ		】					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【		わ		】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	榨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

'10.9(第1版)
F0710-1